

SAGA 2024 国スポ 全障スポ KARATSU

セーリング競技リハーサル大会

高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会
第23回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
2023年全日本セーリング選手権大会



期 日 令和5年9月16日(土)～9月18日(月)
会 場 佐賀県唐津市 佐賀県ヨットハーバー
共同主催 公益財団法人日本セーリング連盟
全日本実業団ヨット連盟 セーリングスピリッツ協会
唐津市 SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会
NPO法人佐賀県ヨット連盟

後 援 日本470協会 日本スナイプ協会 日本420協会
日本レーザークラス協会 日本ウインドサーフィン協会
佐賀県 佐賀県教育委員会
SAGA2024実行委員会
公益財団法人佐賀県スポーツ協会
唐津市教育委員会

国体マーク



国体マークは昭和 22 年に（財）日本体育協会が定めた標章で第 2 回大会から使用されています。

マークは 30 度傾斜した赤色の火炎を青色の円帯（幅はマークの直径の 1/10）で囲んだものです。

愛称

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

これまで国体の愛称で親しまれてきた国民体育大会が、佐賀の地で国民スポーツ大会へと生まれ変わります。この大事な節目となる大会を実施できますことを光榮に思います。アスリート達の繰り広げる熱戦を通し、たくさんの方に元気を与えられるような大会を目指します。

スローガン

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

国体から国スポへの変革の起点となります今大会のスローガンはスポーツの持つチカラに重きを置いています。人々に勇気や感動を与えるスポーツのチカラを、実際に競技「する」選手だけでなく、観客として熱戦を「観る」、ボランティアなどを通して「支える」など様々な関わり方を通して、すべての人に実感してほしいという思いが込められています。

SAGA2024 国スポ・全障スポ セーリング競技リハーサル大会

高松宮記念杯第 69 回全日本実業団ヨット選手権大会

第 23 回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会

2023 年全日本セーリング選手権大会

目 次

挨拶・歓迎のことば	2
競技日程・会議日程	7
式典次第	8
大会役員	9～11
競技役員	12～14
競技補助員、競技会補助員	15
レース公示	16～28
帆走指示書	29～43
大会出場者名簿	44～60
過去の栄冠（全日本実業団選手権）	61～64
会場配置図・周辺図	65
関係機関連絡先	66
プログラム記載事項訂正届	67
チャイルドルームのご案内	68



ご挨拶

公益財団法人日本セーリング連盟
会長 馬場 益弘

第78回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会が、4年ぶりに唐津市佐賀県ヨットハーバー開催されることを心からお慶び申し上げます。いよいよ来年の佐賀大会からは、「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に名称変更され、記念すべき大会になります。来年の「SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」とした新しい大会へ繋げるためにも今大会を成功に導いていただくようお願いいたします。

大会開催に御尽力いただきました佐賀県、佐賀県教育委員会、唐津市教育委員会、公益財団法人佐賀県スポーツ協会、唐津市、SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会、NPO法人佐賀県ヨット連盟、また、ご協力いただきます佐賀玄海漁業協同組合、海上自衛隊佐世保警備隊には深く感謝申し上げます。

本大会は、来年に開催される佐賀国民スポーツ大会のリハーサル大会であり、伝統ある高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会、第23回全日本セーリングスピリッツ級を中心に、全国的に普及している艇の全日本選手権大会として開催されます。今大会からは、テクノ293級、男女混合競技の470級、スナイプ級が追加され、たくさんセーラーが唐津ヨットハーバーに集まり盛大に開催されることと思います。

「すべての人に、スポーツの力を」。唐津に集結したセーラーの中から、世界の海を舞台としたセーラーや、世界基準のレースオフィシャルズが誕生し、活躍されることを期待しています。

最後になりましたが、今大会が好天に恵まれ、安全かつ成功裏に進みますことを祈念してご挨拶いたします。

ご挨拶



全日本実業団ヨット連盟
会長 外尾 竜一

高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会が佐賀県ヨットハーバーにおいて、「SAGA2024 国民スポーツ大会」のリハーサル大会として開催されますことをお慶び申し上げます。

また、本大会の開催にあたって公益財団法人 日本セーリング連盟、SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会、NPO 法人 佐賀県ヨット連盟をはじめとする団体、関係する方々のご指導、ご尽力に心より感謝いたします。

さて、本大会は1955（昭和30）年11月に琵琶湖柳ヶ崎に於いて企業ヨット部の対抗戦を行ったことを起源としており、勝者に与える賜杯を故 高松宮妃殿下より授けていただき、今年で69回目を迎えることになりました。

企業のセーリング活動は1990年代のバブル経済の崩壊後、企業ヨット部の休廃部が相次ぎ、存続するヨット部においても活動予算縮減への対応に苦慮していましたが、その後の懸命な努力により経済環境が上向いた事により、既存チームの活動が活性化すると共に、新しい企業ヨット部や企業を越えた同好者で結成されたクラブチームの新規参加を得て明るさが戻ってきております。

選手・監督の皆さんが日頃研鑽した技術とチームワークを遺憾なく発揮され、共に喜びに満ちた大会となり、この喜びを大会開催・運営にご尽力いただいた方々と分かち合い、明日への活力と「SAGA2024 国民スポーツ大会」成功の一助となることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



歓迎のことば

唐津市長 峰 達 郎

全国各地から参加された選手、監督、役員の皆様、ようこそ唐津市へお越しくださいました。

高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会、第23回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会、2023年全日本セーリング選手権大会を、ここ唐津市で盛大に開催できますことは、誠に喜ばしく、唐津市民を代表して心から歓迎を申し上げます。

さて、唐津市では、来年開催の「SAGA2024国民スポーツ大会セーリング競技会」にそれぞれの郷土を代表して参加する選手を応援するとともに、参加する選手、監督及び関係者の皆様を、絆が深まる心のこもったおもてなしで温かくお迎えし、人々の記憶に残る大会となるよう、関係団体等と一体となって、開催準備を進めているところでございます。

来年度は、これまでの「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に生まれ変わり、前回の佐賀国体から48年ぶりの開催となります。選手の皆様には、ここ唐津が誇る国の特別名勝「虹の松原」や「唐津城」などの風光明媚なロケーションと、昔と変わらない唐津湾でのこの風景が、リハーサル大会をはじめ国スポに参加していただく皆様にとって思い出深いものになることを願っております。

選手の皆様には、日々の練習の成果を存分に発揮していただくとともに、ご来唐いただいた皆様には、ぜひ、この機会に唐津の「歴史、文化、自然、食」にも触れていただき、大会の思い出と一緒に持ち帰っていただきたいと思っております。

結びになりますが、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました公益財団法人日本セーリング連盟及び全日本実業団ヨット連盟並びに特定非営利活動法人佐賀県ヨット連盟をはじめとする関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げますとともに、皆様のご健勝と本大会の成功と発展を祈念し、歓迎のことばといたします。

「熱き戦いを期待！」

歓迎の御挨拶



特定非営利活動法人 佐賀県ヨット連盟
理事長 藤原 雄

「SAGA2024 国民スポーツ大会セーリング競技リハーサル大会」開催にあたり、全国からお集まりの皆様へ、大会関係者一同、心より歓迎の意を表します。

本大会は、来年開催される「SAGA2024 国スポ・全障スポ」のリハーサル大会であると共に、「燃ゆる感動かごしま国体」の直前の大会で、我々、大会運営関係者のみならず、選手諸兄弟にとって、重要な大会であると意識しています。一方、皆様には、「本大会を楽しんでいただきたい」との思いもございます

この唐津の海は、言うまでもなく、とても美しい自然環境を有した、我が郷土の「心の海」でございます。年余にわたり、大きく景観を変えることもなく、存在し続けています。沖合 800 メートルには鳥島、さらに沖合に高島を有し、セーリング環境としては、初心者から上級者まで、順天から荒天まで幅広く受け入れてくれる最適な環境を呈しています。

この海の歴史を紐解きますと、いにしえは大陸と繋がっていた海であり、明治から昭和にかけては、石炭の積み出し港として、我が国の発展を支えた海でありました。この海にそびえ立つ唐津城は、江戸初期に、海に突き出した満島山に築城され、東西に広がる松原と共に「舞鶴城」と呼ばれ、この海の歴史的景観の象徴となっています。

そして、昭和 51 年（1976 年）第 31 回国民体育大会「若楠国体」を契機に、唐津のセーリング文化は 50 年にわたり、この海に新たな歴史を刻み続けています。

この美しく歴史ある海に、全国の皆様をお迎えできることは、我々にとって非常に嬉しいことであり、御参加いただく皆様へ、深く感謝を申し上げます。皆様の日頃の錬磨の成果が「熱き戦い」として発揮されることを心よりご期待申し上げます。

参加選手、関係者諸兄弟におかれましては、未来に繋がる「勇気と希望」がみなぎる大会となることを御祈念申し上げます。

歓迎のことば



佐賀県知事 やま ぐち よし のり
山口 祥 義

高松宮妃記念杯第 69 回全日本実業団ヨット選手権大会、第 23 回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会、2023 年全日本セーリング選手権大会が、「SAGA 2024 第 78 回国民スポーツ大会」セーリング競技のリハーサル大会として開催されますことをお喜び申し上げます。

各地からお越しいただきました皆様、ようこそ佐賀にいらっしゃいました。心から歓迎いたします。

「SAGA 2024」は、「国体」から「国スポ」へ名称が変わる最初の大会です。

「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに、体育からスポーツに変わる今だからこそ、前例のない大会、そしてスポーツ文化の新時代を創ろうという熱い想いで準備を進めています。

大会メイン会場となる SAGA サンライズパークもグランドオープンし、エンターテインメント性の高い開閉会式や個々の選手の活躍にスポットを当てた表彰など、新たな取組にもチャレンジし、スポーツ新時代の幕開けにふさわしい「新しい大会」の実現を目指してまいります。

本大会は、競技のより一層の普及や振興はもとより、スポーツの力で盛り上がる佐賀を体感いただく絶好の機会であると考えています。

選手の皆様にとりまして、本大会が、日頃の練習の成果を存分に発揮される場となるとともに、選手同士の交流を深め、思い出に残る大会になることを期待しています。

今、佐賀県では SAGA 2024、そしてその先を見据え、「SAGA スポーツピラミッド構想 (SSP 構想)」を掲げ、アスリートの人生にコミットした人材育成や就職支援、練習環境の充実を一体的に進めるとともに、県民が「する、育てる、観る、支える」など、自分なりのスタイルでスポーツに関わる環境をつくり、スポーツを活かした人づくり、地域づくりを進めています。

スポーツが新たな時代を迎える今、人の心を動かし、人と人とをつなぐスポーツの素晴らしさが、この佐賀の地から広がっていくことを願っています。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会が皆様にとって実り多いものとなりますことを祈念し、歓迎のことばといたします。

競技日程・会議日程

月 日	時 間	内 容
9月15日 (金)	9 : 30～16 : 00	受 付
	9 : 30～16 : 00	計 測
9月16日 (土)	8 : 30～ 9 : 30	受 付
	9 : 00～11 : 00	計 測 (予備日)
	9 : 30～10 : 00	開会式
	10 : 00～10 : 40	競技運営説明会
9月18日 (月)	14 : 00～15 : 00	閉会式 (表彰式)

月 日	予告信号 時 刻	A・C海面		予告信号 時 刻	B・C海面	
		種目	レース		種目	レース
9月16日 (土)	12:00	470級・470級ミックス	第1レース	12:10	セーリングスピリッツ級	第1レース
	12:07	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第1レース	12:17	ILCA6級	第1レース
	引続き	470級・470級ミックス	第2レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第2レース
	引続き	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第2レース	引続き	ILCA6級	第2レース
9月17日 (日)	13:45	ILCA7級	第1レース	14:00	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第1レース
	13:52	420級	第1レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第2レース
	引続き	ILCA7級	第2レース	引続き	ILCA6級	第3レース
	引続き	420級	第2レース	引続き	ILCA6級	第4レース
9月18日 (月)	9:30	ILCA7級	第3レース	9:40	セーリングスピリッツ級	第3レース
	9:37	420級	第3レース	9:47	ILCA6級	第3レース
	引続き	ILCA7級	第4レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第4レース
	引続き	420級	第4レース	引続き	ILCA6級	第4レース
	引続き	ILCA7級	第5レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第5レース
	引続き	420級	第5レース	引続き	ILCA6級	第5レース
9月18日 (月)	12:00	470級・470級ミックス	第3レース	12:10	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第3レース
	12:07	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第3レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第4レース
	引続き	470級・470級ミックス	第4レース	引続き	ILCA6級	第5レース
	引続き	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第4レース	引続き	ILCA6級	第5レース
9月18日 (月)	9:30	470級・470級ミックス	第6レース	9:40	セーリングスピリッツ級	第6レース
	9:37	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第6レース	9:47	ILCA6級	第6レース
	10:30	ILCA7級	第6レース	10:50	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第6レース
	10:37	420級	第6レース			

- (1) 各海面の引き続き行うレースは、その前のレースの各種目終了後、引き続き行う。
- (2) 470級と470級ミックス、スナイプ級とスナイプ級ミックス、国体ウインドサーフィン級(成年男女)とテクノ293級(成年男女)、420級(少年男女)、ILCA6級(成年女子、少年男女)は、それぞれの種目において、全種別が同時スタートを実施する。
- (3) 天候等の事情により競技日程及びレース海面は、レース委員会において変更することがある。

式典次第

【開会式】

1. 日時 令和5年9月16日(土) 9:30~10:00
2. 場所 佐賀県ヨットハーバー特設会場式典テント
3. 式次第

選手着席
開式通告
開会宣言
国旗儀礼
優勝杯返還
大会会長あいさつ
歓迎のことば
選手宣誓
閉式通告
役員・選手団退場
(引続き：競技運営説明会)

【閉会式】

1. 日時 令和5年9月18日(月) 14:00~15:00
2. 場所 佐賀県ヨットハーバー特設会場式典テント
3. 式次第

選手着席
開式通告
成績発表
表彰
大会会長あいさつ
歓送のことば
国旗儀礼
閉会宣言
閉式通告
役員・選手団退場

SAGA2024国スポセーリング競技リハーサル大会

大会役員

(順不同、敬称略) ※=兼務

【 名 誉 会 長 】 峰 達 郎

【 大 会 会 長 】 馬 場 益 弘

【 大 会 副 会 長 】 中 澤 信 夫 ※ 富 田 三 和 子 中 村 隆 夫
 ※ 藤 原 雄 外 尾 竜 一 ※ 中 川 千 鶴 子
 岩 本 真 二 伊 藤 浩

【 顧 問 】 ※ 秋 山 雄 治 植 松 眞 ※ 中 川 千 鶴 子
 桑 原 啓 三 庄 司 一 夫 ※ 富 田 三 和 子
 笹 山 茂 成 栗 原 宣 康

【 参 与 】 大 谷 た か を 小 山 泰 彦 坂 谷 定 生
 齋 藤 歩 森 田 豊 三 古 川 康
 山 下 雄 平 大 場 芳 博 田 中 秀 和
 富 田 幸 樹 桃 崎 祐 輔 ※ 熊 本 大 成
 福 田 さ と し 菊 池 浩 太 郎 長 塚 奉 司
 庄 司 一 夫 佐 藤 利 秋 齋 藤 和 久
 緑 川 幹 朗 安 藤 真 理 子 森 谷 茲 充
 須 藤 昭 男 新 藤 義 孝 前 田 彰 一
 高 橋 祐 司 貝 道 和 昭 田 辺 文 得
 小 保 祥 一 横 山 眞 四 方 正 治
 ※ 大 西 治 夫 高 間 正 信 ※ 中 島 量 敏
 小 栗 一 朗 原 田 佳 幸 森 正 弘
 神 野 佳 樹 岡 田 栄 三 岩 崎 清 彦
 森 田 豊 三 安 藤 真 理 子 中 井 國 雄
 安 田 由 毅 大 西 和 彦 竹 内 宣 昭
 山 根 恒 弘 秋 野 哲 範 中 博 史
 阿 部 晋 也 黒 川 重 男 松 本 洋 一
 ※ 秋 山 雄 治 西 村 隆 岡 村 哲 生
 堀 井 伸 一 児 玉 純 一 その だ 修 光
 有 銘 兼 一 桑 野 安 史 中 村 光 恵

【 参 与 】

山崎昌樹	大庭秀夫	杉山武靖
木村治愛	長谷川浩	脇山行人
笹山茂成	水上勝義	宮原辰海
久保美樹	大宮路美奈子	岡部高広
伊藤一之	原雄一	古藤宏治
江里孝男	青木茂	中村健一
山下壽次	伊藤泰彦	黒木初之
浦田関夫	吉村慎一	大西康大
石崎俊治	進藤健介	熊本幸次
檜崎三千夫	宮本悦子	中川崎美和
白水敬一	※栗原宣貴	宮崎伯玄
篠原智文	石山保田	佐伯守男
熊本大成	久保田俊史	保利守男
宮崎祥士郎		

【 大 会 委 員 長 】 安 藤 敦

【 大 会 副 委 員 長 】 ※ 黒 川 重 男 ※ 藤 原 雄

【 大 会 委 員 】 中 島 昇 岩 橋 昭 尚 長 塚 奉 司
山 下 亮 古 屋 勇 人 岩 田 俊 彦
吉 留 容 子 中 村 光 恵 ※ 富 田 三 和 子
榮 樂 洋 光 森 谷 茲 充 根 津 久 一 郎
井 上 宏 山 本 伸 善 高 谷 智
大 村 雅 一 望 月 宣 武 宮 野 幹 弘
中 村 和 哉 尾 形 依 子 鈴 木 祥 子
大 垣 俊 朗 長 塚 奉 司 高 橋 祐 司
磯 部 君 江 岡 村 勝 美 中 島 量 敏
目 瀬 好 男 加 賀 谷 賢 二 磯 部 君 江
斉 藤 修 五 十 川 浩 司 石 川 彰
井 上 貴 支 岩 瀬 喜 頁 安 田 大 助
沼 田 浩 行 関 一 人 高 間 信 行
上 野 保 紙 谷 雅 子 鈴 木 保 夫
山 本 卓 山 崎 寛 中 島 和 弘
渡 辺 哲 雄 田 辺 領 神 谷 良 久
林 田 竜 太 中 村 敏 夫 笹 井 正 和
中 村 光 恵 中 村 宗 子 保 利 守 男
中 島 昌 英 山 口 徳 広 増 本 哲 也
吉 田 侑 司 嶺 川 政 行 鬼 塚 弥 那 美
増 本 さ や か 赤 間 高 雄

SAGA2024国スポセーリング競技リハーサル大会

競技役員

(順不同、敬称略) ※=兼務

【 競 技 委 員 会 】

委員長 黒川重男
副委員長 長塚奉司 保利守男

【 レース委員会 】

レースオフィサー 大庭秀夫
副委員長 京黒太郎
委員 外尾竜一 山本俊貴 ※坂口陽平
※倉持隆一 ※田口真一 松本遥香
※中山英弘 ※稲葉伸理

【 レース委員会事務局 】

事務局長 井上宏
事務局次長 山本伸善 榮樂洋光
事務局員 桑野安史 山元麻理 根津久一郎
中村敏夫 中島孝一 鈴木純子
岡高昭

【 記 録 部 】

部長 前田修之
副部長 田口真一
部員 松本雄一郎 井上兼一 岩瀬広志
檜崎由紀子

【 発着水路部 A 】

部長 中山英弘
副部長 坂口陽平
部員 野元健一郎 坂口智耶 坂口翔
山崎清香 小倉直人 奥田耕大
甲斐孝光 上原芽衣 宮崎公邦
白子清士 岡村勝美 宮崎太一
市橋隆司 山口綾子 辻宗範
保利正孝 宮口晴斗 田中努
福山浄瑛 増本哲也 松尾祥平
渡辺真吾 宮野美恵子

【 発着水路部 B 】

部長	稲葉伸理							
副部長	倉持隆一							
部員	伊地知俊昭	田川昭信	崎山耕喜					
	堀春	汐口貴広	上妻明弘					
	村上祐一	江村知紘	関根孝大					
	神真也	酒井裕介	瀬戸正人					
	重陽一	藤井弥那美	石本恭子					
	池田潤美	増本優太	宮崎歩美					
	田中裕美	平田竜紀	古賀俊介					
	山口徳広							

【 海上安全部 】

部長	川口雅喜							
副部長	吉田侑司							
部員	田中秀洋	池間克己	西村隆					
	佐藤誠	堀大五郎	中川陽介					
	仁戸田匡史	田中孝則	大原康幸					
	青谷弘司	川崎卓	木下博登					
	酒井竜矢	山崎覚志	粒崎博貴					
	新井瑞	堤健策	岡部正人					
	栗原嘉紀	立石美文	荒巻信弘					
	松尾正幸	蓮尾恵慶	吉田藤善					
	吉田善史	坂本安則	吉田光治					
	野崎洋一	野崎保久	野崎隆夫					
	坂本智彦	坂本まき子	坂本奈緒子					

【 総務・報道部 】

部長	櫻井秀樹							
副部長	中里英一							
部員	橋本郷	野元聡美	吉留容子					
	長田美香子	西宮敬宏	古賀恵智子					
	坂口英章	宮田毅志	竹岡正登					
	高宮豪太	田岸来実	佐藤啓明					
	吉永啓次郎	川脇義美	高森邦彦					
	吉永弘斗	吉永紀仁	金子征史					
	梅田美保	川口美和	麻生綾					
	寺田由香里	高崎日登美	山口好恵					
	佐々木優実	吉田有紀子	坂田輝人					
	仁部順子	平片リナ	竹本笑					
	西分直美	江藤大亮	能美廣則					
	能美理恵	渡邊美咲	川添智美					
	磯寄直子	西田由紀	古賀康弘					

古賀 理 絵	佐 伯 祐 二	福 島 利 加
太 田 仁 美	野 口 清 美	手 塚 真 由 美
浦 丸 智 美	藤 川 未 樹 沙	今 泉 和 恵
中 川 千 映	坂 本 み どり	柴 田 涼 子
黒 田 量 子	宮 原 在	

【 運 航 ・ 通 信 部 】

部長	嶺 川 政 行		
副部長			
部員	重 信 隆 彰	松 元 節 子	川 副 康 博
	岸 川 敬	西 村 成 人	高 田 勝 幸
	滑 川 博 信	宮 崎 辰 喜	佐 々 木 輝 秀
	渡 辺 亜 紀		

【 プロテスト委員会 】

委員長	藤 井 裕 文		
副委員長	増 田 開		
委員	中 垣 宣 文	加 藤 圭 二	前 園 昇
	林 健 太	田 中 正 昭	岡 嶋 佳 治
	岡 部 幸 司	富 松 潔	高 野 由 美 子
	高 木 紀 寿	豊 原 政 則	米 良 格
	古 賀 誠 次	橋 口 昭 彦	真 崎 邦 彦

【 プロテスト委員会事務局 】

事務局長	吉 本 昌 弘		
事務局次長	中 島 昌 英		
事務局員	橋 元 隆	吉 原 あ ゆ み	原 田 二 千 夏
	大 世 戸 恵 子		

【 テクニカル委員 】

委員長	宇 田 川 真 帆		
副委員長	中 村 和 哉	宮 崎 祥 士 朗	
委員	松 尾 博 文	三 森 淳	大 熊 典 子
	岩 田 俊 彦	浅 原 滋 樹	久 寶 亜 弥
	西 野 隆 文	東 島 和 幸	白 井 敏 文
	西 村 博 行	小 久 保 伸 一	宮 崎 貞 克
	石 崎 五 一 郎		

【 計 測 ・ 競 艇 部 】

部長			
副部長			
部員	白 石 潤 一 郎	吉 村 修 平	巽 美 則
	小 林 隆	中 川 恵 理	藤 吉 陽 一

SAGA2024国スポ セーリング競技リハーサル大会
競技役員

佐賀県立唐津西高等学校

佐賀県立唐津工業高等学校

佐賀県立唐津東高等学校

SAGA2024国スポ セーリング競技リハーサル大会
競技会補助員

SAGA2024国スポボランティアの皆さん

SAGA2024 国民スポーツ大会セーリング競技リハーサル大会

高松宮妃記念杯第 69 回全日本実業団ヨット選手権大会

第 23 回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会

2023 年全日本セーリング選手権大会

レース公示



- 共同主催 公益財団法人日本セーリング連盟
全日本実業団ヨット連盟 セーリングスピリッツ協会
唐津市 SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会
NPO 法人佐賀県ヨット連盟
- 後援 日本470協会 日本スナイプ協会 日本420協会
日本レーザークラス協会 日本ウインドサーフィン協会
佐賀県 佐賀県教育委員会
SAGA2024 実行委員会
公益財団法人佐賀県スポーツ協会
唐津市教育委員会
- 期日 2023年9月16日(土)～9月18日(月)
- 会場 佐賀県ヨットハーバー

期 日 2023年9月16日(土)～9月18日(月)
会 場 佐賀県ヨットハーバー

1 規則

- (1) 2021-2024 セーリング競技規則 (以下「RRS」という。) に定義された規則を適用する。
- (2) [NP]は、この規則違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a) を変更している。
- (3) スナイプ級について、SCIRA クラス規則「国内選手権及び国際選手権大会運営のための運営規則」は適用しない。
- (4) 国体ウインドサーフィン級、及びテクノ 293 級 (テクノ 293 級は、テクノプラス、セイルサイズは 6.8 もしくは 7.8 フィンサイズは 46cm に制限) について、RRS 付則 B を適用する。ただし、RRS 付則 B5 中の RRS61 の変更及び RRS 付則 B8 は適用しない。

2 帆走指示書

帆走指示書は、2023年7月31日(月)までに、SAGA2024 国民スポーツ大会セーリング競技リハーサル大会ホームページ (以下「大会ホームページ」という。) に掲載する。

3 コミュニケーション

- (1) 競技者への通告は、大会ホームページ (<https://www.saga2024-sailing-karatsu.com>) に設置された公式掲示板に掲示されるとともに、SAGA2024 国民スポーツ大会セーリング競技リハーサル大会 (以下「大会」という。) の LINE オープンチャット (以下「LINE チャット」という。) で通告される。ホームページ等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは RRS60.1(b) を変更している。競技者は、LINE チャットへ登録が必要である。LINE チャットへの登録及びオンライン手続きについては、帆走指示書に示す。
- (2) 陸上本部は、佐賀県ヨットハーバー内に位置する。
- (3) 緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線通信を行ってはならない。またすべての艇が利用できない無線通信を傍受してはならない。この制限は、携帯電話及び GPS にも適用する。

4 参加資格及び参加申込条件

全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
470級	スナイプ級	セーリングスピリッツ級
オープン参加		
2023年度 日本セーリング連盟メンバー登録を終えた者		
①乗員のうち1名以上は、バッジテスト中級4級以上の者 ②地方水域の実業団ヨット連盟から推薦を受けた者 ③メンバーは、実業に従事していること ④メンバーは、2005年4月1日以前に生まれた者		成年は、バッジテスト中級4級以上の者 少年は、バッジテスト初級5級以上の者
⑤スキッパー、クルーと艇体は、2023年度 SCIRA 登録を終了していること		参加者が未成年の場合は、監督が付き添うこと。 監督は、複数の艇の監督を兼ねることができる。
※全日本実業団ヨット選手権大会の選手は470級ミックス、スナイプ級ミックスにエントリーできない。 ※オープン参加は②③対象外		

全日本セーリング選手権大会						
420級	ILCA7級	ILCA6級	国体ウインドサーフィン級	テカノ293級	470級ミックス	スナイプ級ミックス
少年男子 少年女子	成年男子	成年女子 少年男子 少年女子	成年男子 成年女子	成年男子 成年女子	男女混成	男女混成
オープン参加						
2023年度 日本セーリング連盟メンバー登録を終えた者						
成年は、バッジテスト中級4級以上の者 少年は、バッジテスト初級5級以上の者			ウインドサーフィン・バッジテスト中級以上の者	乗員のうち1名以上はバッジテスト中級4級以上の者		
2005年4月2日以降に生まれた中学2年生以上の者	2005年4月1日以前に生まれた者	成年女子は2005年4月1日以前に生まれた者 少年は2005年4月2日以降に生まれた中学2年生以上の者	成年は、2005年4月1日以前に生まれた者			
参加者が未成年の場合は、監督が付き添うこと。 監督は、複数の艇の監督を兼ねることができる。						

4.2 参加艇数・水域別割当

全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
470級	スライフ級	セーリングスピリッツ級
計40 (オープン参加を含む)	計60 (オープン参加を含む)	計30
一部水域で割り当てに不足が生じた場合、全日本実業団ヨット連盟により再割当する。オープン参加の調整は実行委員会が行う。		申込み艇数が参加艇数を超えた場合、実行委員会 が調整することがある。
水域割当参加チーム		
東北・関東 8	東北・関東 9	
中部 4	中部 9	
近畿・北陸 1	近畿・北陸 1	
関西 3	関西 5	
中・四国 5	中・四国 4	
九州 2	九州 2	
合計 23艇	合計 30チーム	

全日本セーリング選手権大会						
420級	ILCA7級	ILCA6級	国体ウインド サーフィン級	テクノ293級	470級ミックス	スライフ級ミックス
少年男子 少年女子	成年男子	成年女子 少年男子 少年女子	成年男子 成年女子	成年男子 成年女子	男女混成	男女混成
計30 (オープン参加 含む)	計30	計60	計30	計40	計20	計20
申込み艇数が参加艇数を大きく超えた場合、申込み先着順とし、実行委員会が調整することがある。 420級の参加艇数が30艇にならない場合は、オープン参加（男女混合等）を認める。						

※ 参加者は、変更事項が生じた場合、SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会事務局に報告しなければならない。

4.3 参加申込

(1) 申込方法

参加申込書を下記ホームページからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、「電子メール」又は「郵送」により、申し込むものとする。

大会ホームページ <https://www.saga2024-sailing-karatsu.com>

※電子メール : saga2024kyougi@city.karatsu.lg.jp

※郵送 : 〒847-0013 佐賀県唐津市南城内1番地1 大手口センタービル5階
SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会事務局

(2) 申込期間

電子メール及び郵送による申込期間は、2023年7月18日（火）から8月18日（金）までとする。

(3) 参加料の納付先

2023年8月18日(金)までに、下記銀行口座に振り込むこと。

対 象	・全日本実業団ヨット選手権大会(470級、スライプ級のオープン参加は除く)
銀 行 名	三菱UFJ銀行 新丸の内支店(店番号:422)
口座番号	普通預金 4822413
口座名義	全日本実業団ヨット選手権大会 事務局 理事長 桑野安史 (ゼンニホンジツキョウダニョットセンシユケンタイジムキョク リジチョウ クノヤシ)

対 象	・全日本実業団ヨット選手権大会(470級、スライプ級のオープン参加) ・全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 ・全日本セーリング選手権大会
銀 行 名	佐賀銀行 唐津支店(金融機関コード:0179、店番:635)
口座番号	普通預金 2723376
口座名義	SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会 事務局長 伊藤 浩 (サガニーマルニョンコクスホ センシヨウスホ カラツジツッコウインカイジムキョクチョウ イウ ヒロシ)

5 参加料

参加料は、次のとおりとする。

全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
470級	スライプ級	セーリングスピリッツ級
1チーム 20,000円	1チーム 40,000円	1艇 10,000円
オープン参加 1艇 10,000円		

全日本セーリング選手権大会						
420級	ILCA7級	ILCA6級	国体ウインド サーフィン級	テクノ293級	470級ミックス	スライプ級ミックス
1艇 6,000円 (オープン参加 も同じ)	1艇 5,000円	成年女子 5,000円	1艇 5,000円	1艇 5,000円	1艇 10,000円	1艇 10,000円
		少年 3,000円				

6 チームの艇数及び登録人数

全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
470級	スイング級	セーリングスピリッツ級
1艇	2艇 オープン参加 1艇	1艇
監督2名 選手5名以内 470級登録者はスイング級に登録できない。 但し、全日本実業団ヨット連盟が認める場合を除く。	監督1名 選手9名以内 スイング級登録者は470級に登録できない。 但し、全日本実業団ヨット連盟が認める場合を除く。	1艇の登録人員は2名
オープン参加選手2名		

全日本セーリング選手権大会						
420級	ILCA7級	ILCA6級	国体ウインドサーフィン級	テクノ 293 級	470 級ミックス	スイング級ミックス
少年男子 少年女子	成年男子	成年女子 少年男子 少年女子	成年男子 成年女子	成年男子 成年女子	男女混成	男女混成
1艇	1艇	1艇	1艇	1艇	1艇	1艇
1艇の登録人員は2名 (オープン参加も同じ)	1艇の登録人員は1名	1艇の登録人員は1名	1艇の登録人員は1名	1艇の登録人員は1名	1艇の登録人員は2名	1艇の登録人員は2名

7 [DP][NP] 広告

艇は主催団体により選択され提供された広告を表示するよう、要求されることがある。

8 日 程

月 日	時 間	内 容
9月15日 (金)	9:30~16:00 9:30~16:00	受 付 計 測
9月16日 (土)	8:30~9:30 9:00~11:00 9:30~10:00 10:00~10:40	受 付 計 測 (予備日) 開会式 競技運営説明会
9月18日 (月)	14:00~15:00	閉会式 (表彰式)

月 日	予告信号 時 刻	A・C海面		予告信号 時 刻	B・C海面	
9月16日 (土)	12:00	470級・470級ミックス	第1レース	12:10	セーリングスピリッツ級	第1レース
	12:07	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第1レース	12:17	ILCA6級	第1レース
	引続き	470級・470級ミックス	第2レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第2レース
		スナイプ級・スナイプ級ミックス	第2レース		ILCA6級	第2レース
9月17日 (日)	13:45	ILCA7級	第1レース	14:00	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第1レース
	13:52	420級	第1レース			
	引続き	ILCA7級	第2レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第2レース
		420級	第2レース			
9月18日 (月)	9:30	ILCA7級	第3レース	9:40	セーリングスピリッツ級	第3レース
	9:37	420級	第3レース	9:47	ILCA6級	第3レース
	引続き	ILCA7級	第4レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第4レース
		420級	第4レース		ILCA6級	第4レース
	引続き	ILCA7級	第5レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第5レース
		420級	第5レース		ILCA6級	第5レース
9月18日 (月)	12:00	470級・470級ミックス	第3レース	12:10	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第3レース
	12:07	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第3レース			
	引続き	470級・470級ミックス	第4レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第4レース
		スナイプ級・スナイプ級ミックス	第4レース			
9月18日 (月)	引続き	470級・470級ミックス	第5レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第5レース
		スナイプ級・スナイプ級ミックス	第5レース			
	9:30	470級・470級ミックス	第6レース	9:40	セーリングスピリッツ級	第6レース
	9:37	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第6レース	9:47	ILCA6級	第6レース
9月18日 (月)	10:30	ILCA7級	第6レース	10:50	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第6レース
	10:37	420級	第6レース			

- (1) 各海面の引き続き行うレースは、その前のレースの各種目終了後、引き続き行う。
- (2) 470級と470級ミックス、スナイプ級とスナイプ級ミックス、国体ウインドサーフィン級(成年男女)とテクノ293級(成年男女)、420級(少年男女)、ILCA6級(成年女子、少年男女)は、それぞれの種目において、全種別が同時スタートを実施する。
- (3) 天候等の事情により競技日程及びレース海面は、レース委員会において変更することがある。

9 装備検査

(1) 計測される艇体・セール・スパーク類及び艀装品は、以下のとおりとする。

なお、競技艇等一式は、参加チームあるいは個人で用意する。

全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
470級	スナイプ級	セーリングスピリッツ級
1艇 1組	1チーム 2艇 2組 セール 最大2組/艇	1艇 1組
オープン参加 1艇 1組		

全日本セーリング選手権大会						
420級	ILCA7級	ILCA6級	国体ウインドサーフィン級	テクノ 293 級	470 級ミックス	スナイプ級ミックス
1艇 1組 (オープン参加も同じ)	1艇 1組	1艇 1組	1艇 1組 セール 2枚	1艇 1組 セール 2枚	1艇 1組	1艇 1組 セール最大 2組/艇

(2) 参加艇は、大会計測を受ける時点でクラスルールを満たしていなければならない。

(3) レースに使用する艇は、レース前に計測等の検査を受け、その承認を得たものに限られる。

各種目共、各レース終了後に任意に抜き取り、海上または陸上で計測を行うことがある。

(4) レース前の計測時には艇及びボードは乾燥した状態であること。また、計測後の艇及びボードの改造、装備の交換をすることができない。

(5) 470 級、420 級及びスナイプ級は、所定の計測証明書（艇体とセール番号が異なる場合は、それぞれの計測証明書）持参し、受付時に確認を受けること。

470 級、420 級及びスナイプ級のセールについては、基本計測を終了しクラス規則に適合していることを示すステッカー又はスタンプ及び公式計測員のサインと計測を行った日付が記載されていること。

470 級及び 420 級について、テクニカル委員会が承認した場合を除き、メインセールとスピネーカーのセール番号は一致しなければならない。

(6) スナイプ級、セーリングスピリッツ級は、本年度艇登録証（ステッカー）を艇体又はボードに貼付けしていること。

(7) 国体ウインドサーフィン級は、1つのボードに2枚のセールの使用が許可され、マストの本数は制限しない。テクノ 293 級は、クラス規則のとおりとする。

(8) [DP] [NP] 識別番号シール

ア 各種目のセールには、主催者が用意する識別番号シール（エントリー番号を表すシール・各艇1組）を貼付けなければならない。但し、テクノ 293 級については別途指示する。

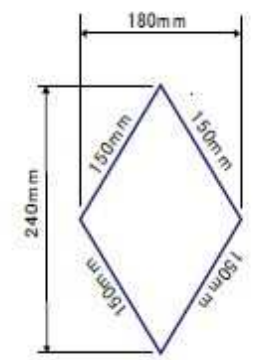
貼付け方法はセールのピーク付近に両面（スターボード側上位）に重ならないように貼付ける。

イ 国体ウインドサーフィン級及びセーリングスピリッツ級（マイラーセール使用）のセールは、主催者が用意する白地のフィルムの上に識別番号シールを表示しなければならない。

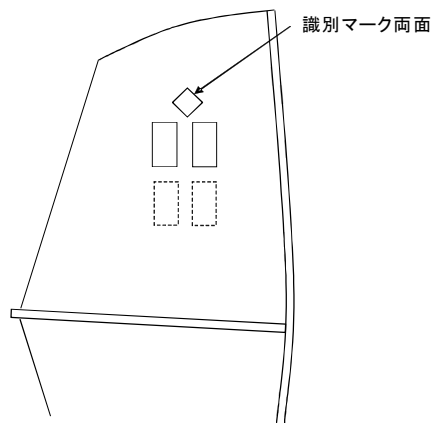
ウ 識別番号シールと白地のフィルムは受付時に配布する。

(9) [DP] [NP] セール上の識別

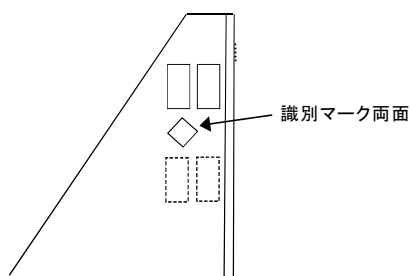
識別マーク（ひし形）は実行委員会が用意し、受付時に配布する。識別マークを両面の同じ位置に表示しなければならない。

種 別	種 目	色	形 状
成年女子	国体ウインドサーフィン級	赤	下記サイズ以上 
少年男子	ILCA6 級	青	
少年女子	ILCA6 級	赤	
	420 級	赤	対角線の長さ最小 250mm

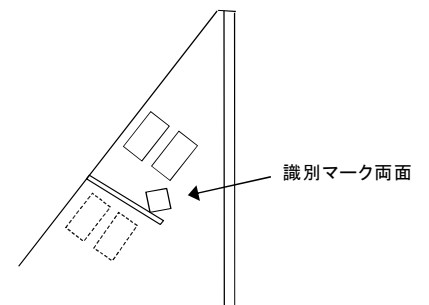
国体ウインドサーフィン級 識別番号・識別マークのおおよその表示位置



420 級 識別番号・識別マークのおおよその表示位置



ILCA6 級 識別番号・識別マークのおおよその表示位置



(10) 個人用浮揚用具（ライフジャケット）

個人用浮揚用具（ライフジャケット）は、下記のとおりでなければならない。

ア 海上では有効な浮力を有する適切な個人用浮揚用具（ライフジャケット）を着用する。

イ 個人用浮揚用具（ライフジャケット）は自分の体重を支えるのに十分な浮力を有し、かつ下記「個人用浮揚用具（ライフジャケット）に関する規程」に適合するものを参加チームあるいは個人が持参すること。

【個人用浮揚用具（ライフジャケット）に関する規程】

- ① 体重を支えるに十分な浮力があり、体形・体重に合致したサイズ表示と浮力表示が明示されていること。
- ② 着用した状態でセーリング等を行うのに支障なく、かつ誤った方法で着用されないように作られたものであること。
- ③ 通常的环境条件及び油または油性品により急激な強度劣化及び浮力変化のないものであること。
- ④ 水中において、顔面を水面上で支持できるものであること。
- ⑤ 浮力体の抜き取り等の改造を施したり、自作したりしたものでないこと。
- ⑥ クラスルールに規定がある場合はクラスルールに適合したものを使用すること。

(11) ILCA7 級及び ILCA6 級は水上にいる間は、曳航用に直径 6 mm、長さ 5 m 以上のバウ・ラインをバウ・アイに付けておかなければならない。

(12) スナイプ級、スナイプ級ミックス、セーリングスピリッツ級、ILCA7 級、ILCA6 級については、自らの安全のためにマスト・トップに浮力体を取り付けることができる。浮力体の形状は球形に限り、1 か所のロープで取り付けなければならない。ただしコンディションにより付けたり外したりしてもよい。

また、スナイプ級、スナイプ級ミックスについては C 海面についてのみ浮力体が許可される。

10 レースエリア

佐賀県ヨットハーバー沖に A 海面、B 海面、C 海面を設定する。

詳細は、帆走指示書にて指示する。

11 ペナルティー方式

- (1) RRS70.5 及び日本セーリング連盟規程 5.4 に基づきプロテスト委員会の判決をもって最終とする。
- (2) RRS 付則 P を適用し、RRS 付則 P1 の「セール番号」を「識別番号（エントリー番号）又はセール番号」に変更する。
- (3) RRS 付則 T（調停）を適用する。

12 [DP] [NP] 支援者艇

(1) 各チームの支援者艇は、2023 年 7 月 18 日（火）から 8 月 18 日（金）までに大会ホームページ内のオンライン手続きにて許可申請し許可を受けることにより、9 月 15 日（金）から 18 日（月）までの間は使用できる。

出艇から帰着するまでの間、主催者が貸与した旗を掲揚しなければならない。

支援者艇は、佐賀県ヨットハーバーの指定場所に設置（係留または上架）しておかなければな

らない。

(2) 国体用サポートチーム規定が適用される。

13 コース

A海面はトラペズイドコース又は風上・風下コース、B海面及びC海面は風上・風下コースを設定する。

詳細は帆走指示書にて指示する。

14 得点

(1) 各競技種目は1回以上レースが完了すれば、その種目は成立とする。

(2) 艇のシリーズの得点と順位は、各種目とも成立したレースが3レース以下の場合、艇の得点は全レースの合計得点として順位を決定する。4レース以上成立した場合は、最も悪いレースの得点を除外したレースの合計得点として順位を決定する。この項は RRS 付則 A2 を変更している。

(3) 同時にスタートした種目及び種別については、そのレース毎の順位で得点を計算し、個別に種目及び種別毎での得点計算は行わない。

(4) オープン参加がある種目は、オープン参加の艇を含め各レース一連の順位を決定し得点を与える。

(5) スナイプ級のチームのシリーズ得点は、チームを構成する2艇のシリーズ得点の合計とし、合計得点が少ないチームを上位とする。1艇チームの場合は、1艇のシリーズ得点に1艇のDNC(参加艇数+1点)のシリーズ得点を加算したものを、そのチームの得点とする。

(6) スナイプ級のチーム得点と同点の場合、構成する2艇のうち上位の1艇のシリーズ順位を比較し、上位のチームを上位とする。

15 賞

全日本実業団ヨット選手権大会		全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
470級	スナイプ級	セーリングスピリッツ級
優勝チーム： ・山縣記念杯 ・実業団会長杯 (持ち回り)	優勝チーム： ・実業団会長杯(持ち回り) 同一企業のメンバーで構成されたチームのうち最優秀チーム ・高松宮妃記念杯(持ち回り)	優勝： ・SS協会 優勝杯(持ち回り) 1位-3位 盾・賞状
優勝チーム：優勝盾 2位-3位：盾 1位-6位：賞状	優勝チーム：優勝盾 2位-3位：盾 1位-6位：賞状	
オープン参加は表彰の対象としない。		
優勝チームのスキッパー1名に対し、2024年度全日本470級ヨット選手権大会への出場権が日本470協会から与えられる。	優勝チームのスキッパー2名に対し、2024年度全日本スナイプ級ヨット選手権大会への出場権が日本スナイプ協会から与えられる。但し、全てのレースに出場したスキッパーに限る。	

全日本セーリング選手権大会						
420級	ILCA7級	ILCA6級	国体ウインドサーフィン級	テクノ293級	470級ミックス	スナイプ級ミックス
少年男子 少年女子	成年男子	成年女子 少年男子 少年女子	成年男子 成年女子	成年男子 成年女子	男女混成	男女混成
少年男子 1位-3位 盾・賞状 少年女子 1位-3位 盾・賞状 オープン参加は表彰の対象としない	1位-3位 盾・賞状	成年女子 1位-3位 盾・賞状 少年男子 1位-3位 盾・賞状 少年女子 1位-3位 盾・賞状	成年男子 1位-3位 盾・賞状 成年女子 1位-3位 盾・賞状	成年男子 1位-3位 盾・賞状 成年女子 1位-3位 盾・賞状	1位-3位 盾・賞状	1位-3位 盾・賞状

16 リスク・ステートメント

RRS3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

17 [NP] [DP] 参加上の注意

新型コロナウイルス感染防止対策について、大会ホームページの公式掲示板に掲載した場合は、SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会及び競技委員会の指示に従うこと。

18 その他の要件

(1) 大会時に持参するもの

ア 2023 年日本セーリング連盟メンバー証

イ バッジテスト認定証

(2) 計測の受付時に提示するもの

計測証明書（国体ウインドサーフィン級、テクノ 293 級、セーリングスピリッツ級、ILCA7 級、ILCA6 級を除く）

19 大会期間中の肖像権等について

大会期間中に撮影された映像、写真及び個人名を含む成績は、大会ホームページ及び関係団体ホームページ、SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会又は唐津市が発行する報告書、広報紙、ホームページ等に掲載されることがある。

20 問い合わせ先

SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市実行委員会事務局

〒847-0013 佐賀県唐津市南城内 1 番 1 号 大手口センタービル 5 階

TEL : 0955-53-7176 (担当 : 新郷、法村)

FAX : 0955-75-2289

電子メールアドレス : saga2024kyougi@city.karatsu.lg.jp

SAGA2024国民スポーツ大会セーリング競技リハーサル大会

高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会

第23回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会

2023年全日本セーリング選手権大会

帆 走 指 示 書

SAGA 2024

国 スポ ・ 全 障 スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。

共同主催 公益財団法人日本セーリング連盟
全日本実業団ヨット連盟 セーリングスピリッツ協会
唐津市 SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会
NPO法人佐賀県ヨット連盟

後 援 日本470協会 日本スナイプ協会 日本420協会
日本レーザークラス協会 日本ウインドサーフィン協会
佐賀県 佐賀県教育委員会
SAGA2024実行委員会
公益財団法人佐賀県スポーツ協会
唐津市教育委員会

期 日 2023年9月16日(土)～9月18日(月)

会 場 佐賀県ヨットハーバー

1 規則

- 1.1 本大会は2021-2024セーリング競技規則（以下「RRS」という。）に定義された規則を適用する。
- 1.2 [NP]の表記は、艇は、他艇の規則違反に対して抗議できないことを意味する。これは、RRS60.1(a)を変更している。
- 1.3 [SP]の表記は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、SAGA2024国民スポーツ大会セーリング競技リハーサル大会ホームページ（以下「大会ホームページ」という。）（<https://www.saga2024-sailing-karatsu.com>）に設置された公式掲示板（以下「公式掲示板」という）に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは、RRS63.1、A5.1及びA10を変更している。
- 1.4 スナイプ級については、RRS41に以下を追加して適用する。
「艇は、同一チームの他の艇から情報授受を含む援助を受けることができる。」
- 1.5 スナイプ級については、RRS60.1(b)に以下を追加して適用する。
「艇は、同一チームの他の艇から受けた損傷または傷害にもとづく救済を求めることはできない。」
- 1.6 スナイプ級について、SCIRAクラス規則「国内選手権及び国際選手権大会運営のための運営規則」は適用しない。
- 1.7 国体ウインドサーフィン級、テクノ293級について、RRS付則Bを適用する。ただし、RRSB5中のRRS61の変更及びB8は適用しない。

2 帆走指示書の変更

- 2.1 帆走指示書（以下、「SI」という。）の変更は、それが発効する当日の当該クラス予告信号予定時刻の60分前までに大会ホームページに設置された公式掲示板に掲示される。
- 2.2 レースエリアの指示は、当該レースの「D旗」掲揚までに大会ホームページに設置された公式掲示板に掲示される。
- 2.3 レース日程の変更は、それが発効する前日の19時00分までに大会ホームページに設置された公式掲示板に掲示される。

3 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、大会ホームページに設置された公式掲示板に掲示されるとともに、SAGA2024国民スポーツ大会セーリング競技リハーサル大会（以下「大会」という。）のLINEオープンチャット（以下「LINEチャット」という。）で通告される。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これはRRS62.1(a)を変更している。競技者は、LINEチャットへ登録が必要である。登録については添付資料4を参照のこと。
- 3.2 陸上本部は、佐賀県ヨットハーバー内に位置する。
- 3.3 [DP]緊急の場合を除き、艇は無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。この制限は、携帯電話及びGPSにも適用する。ただし、レース委員会が用意するトラッキングシステムは含まない。

4 行動規範

- 4.1 [DP]競技者及び支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 4.2 [NP][SP]レースに参加しようとする艇は、レース委員会により準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置に搭載しなければならない。

- 4.3 端末機器の受け取り返却場所は、9月16日（土）9時30分までに公示する。
- 4.4 [NP] [SP] 端末機器は、SI18.1で行われる出艇申告時に指定の受取所で受け取ることができる。端末機器は、帰着申告時に指定の受取所へ返却しなければならない。

5 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、陸上本部に設置された信号柱に掲揚する。また同時に、LINE チャットで内容を発信される。以下、陸上で発せられる信号には、LINE チャットでの発信も含まれる。
- 5.2 [NP] [DP] 音響1声とともに掲揚される「D旗」は、「予告信号は、D旗掲揚後30分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで離岸してはならない。「D旗」が「クラス旗」の上に掲揚された場合、そのクラスのみに適用する。
- 5.3 SI6.1に示された個別のレースに対して、「回答旗」は掲揚しない。予告信号予定時刻の30分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースの予告信号は、時間の定めなく延期されている。

6 レース日程

6.1 競技の日程は、以下のとおりとする。

月 日	予告信号時刻	A・C海面		予告信号時刻	B・C海面	
9月16日 (土)	12:00	470級・470級ミックス	第1レース	12:10	セーリングスピリッツ級	第1レース
	12:07	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第1レース	12:17	ILCA6級	第1レース
	引続き	470級・470級ミックス	第2レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第2レース
		スナイプ級・スナイプ級ミックス	第2レース		ILCA6級	第2レース
9月17日 (日)	13:45	ILCA7級	第1レース	14:00	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第1レース
	13:52	420級	第1レース			
	引続き	ILCA7級	第2レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第2レース
		420級	第2レース			
9月17日 (日)	9:30	ILCA7級	第3レース	9:40	セーリングスピリッツ級	第3レース
	9:37	420級	第3レース	9:47	ILCA6級	第3レース
	引続き	ILCA7級	第4レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第4レース
		420級	第4レース		ILCA6級	第4レース
	引続き	ILCA7級	第5レース	引続き	セーリングスピリッツ級	第5レース
		420級	第5レース		ILCA6級	第5レース
9月18日 (月)	12:00	470級・470級ミックス	第3レース	12:10	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第3レース
	12:07	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第3レース			
	引続き	470級・470級ミックス	第4レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第4レース
		スナイプ級・スナイプ級ミックス	第4レース			
	引続き	470級・470級ミックス	第5レース	引続き	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第5レース
		スナイプ級・スナイプ級ミックス	第5レース			
9月18日 (月)	9:30	470級・470級ミックス	第6レース	9:40	セーリングスピリッツ級	第6レース
	9:37	スナイプ級・スナイプ級ミックス	第6レース	9:47	ILCA6級	第6レース
	10:30	ILCA7級	第6レース	10:50	国体ウインドサーフィン級・テクノ293級	第6レース
	10:37	420級	第6レース		級	

(1) 各海面の引き続き行うレースは、その前のレースの各種目終了後、引き続き行う。

(2) 470級と特別種目470級ミックス、スナイプ級と特別種目スナイプ級ミックス、国体ウインドサーフィン級(成年男女)と特別種目テクノ293級(成年男女)、420級(少年男女)、ILCA6級(成年女子、少年男女)は、それぞれの種目において、全種別が同時スタートを実施する。

(3) 天候等の事情により競技日程及びレース海面は、SI2 に従いレース委員会において変更することがある。

6.2 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するため、予告信号を発する最低5分以前に、レース委員会信号艇に音響1声とともに「オレンジ色のスタート・ライン旗」を掲揚する。

6.3 9月18日は、11時30分を超えて予告信号を発しない。

6.4 レース委員会、プロテスト委員会、テクニカル委員会は必要に応じて選手・監督ブリーフィングを行う事がある。この場合LINEチャットにて時間・場所を明示する。

7 クラス旗

クラス旗は、以下のとおりとする。

競技種目	クラス旗	旗色
470級・470級ミックス	470級旗	白地に青記章
スナイプ級・スナイプ級ミックス	スナイプ級旗	白地に赤記章
セーリングスピリッツ級	セーリングスピリッツ級旗	白地に黒記章
420級	420級旗	白地に青記章
ILCA7級	ILCA7級旗	白地に赤記章
ILCA6級	ILCA6級旗	黄緑地に赤記章
国体ウインドサーフィン級・テク/293級	国体ウインドサーフィン級旗	白地に青記章

8 レースエリア

- 8.1 佐賀県ヨットハーバー沖の「添付資料1」に示す海面に、A、B、Cの3海面を設定する。
- 8.2 「添付資料1」どおりのレースエリアにならなくても、艇からの救済の根拠とはならない。これはRRS62.1(a)を変更している。

9 コース

- 9.1 「添付資料2」の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇に「艇の帆走すべきコース」及び「最初のレグのおおよそのコンパス方位」を掲示する。

10 マーク

マークは、次のとおりとする。

レースエリア	マーク1、2、3s、3p、4s、4p	新しいマーク	スタートマーク	フィニッシュマーク
A・C海面	イエローの円錐台形	グリーンの円錐台形	レース委員会船	レース委員会船
B・C海面	ピンクの円錐台形	オレンジの円錐台形	レース委員会船	レース委員会船

11 スタート

- 11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上に「オレンジ色旗」を掲揚しているポールの間とする。
- 11.2 [NP] [DP]予告信号が発せられていないクラスの艇は、他のクラスのスタート手順の間、スタート・ラインから概ね50m以内のスタート・エリアを回避しなければならない。
- 11.3 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これはRRSA5.1及びA5.2を変更している。
- 11.4 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるためレース委員会信号艇以外のレース委員会艇にも「第1代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会信号艇以外の当該レース委員会艇が行う「第1代表旗」の掲揚・降下については、RRSレース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味を持たないものとし、また、音響の有無も無視されるものとする。これはRRSレース信号及びRRS29.2を変更している。
- 11.5 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示されるRRS30.4に抵触した艇の識別番号は

次のレースの予告信号前にレース委員会信号艇のスターン掲示板に掲示される。これはRRS30.4を変更している。

12 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a) SI10に示す新しいマークを設置するか、(b) フィニッシュ・ラインを動かすか、(c) 風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上に「青色旗」を掲揚しているポールの間とする。また、Wコースを適用するときのフィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上に「青色旗」を掲揚しているポールとマーク1（コース側）の間とする。

14 ペナルティー方式

- 14.1 RRS42 違反に対し、RRSP1 の「セール番号」を「識別番号又はセール番号」に置き換え RRS 付則 P を適用する。
- 14.2 レース委員会は審問無しに標準ペナルティーを適用することができる。これらの違反と対応する標準ペナルティーは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは、RRS63.1、A5.1 及び A10 を変更している。
- 14.3 RRS 付則 T を適用する。「レース後ペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは、RRSA10 を変更している。

15 タイム・リミットとターゲットタイム

- 15.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムは、次のとおりとする。

競技種目	レース・タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
470級・470級ミックス	60分	25分	15分	40分
スラフ ^レ 級・スラフ ^レ 級ミックス	60分	25分	15分	40分
セーリング ^レ スビ ^レ リッツ級	60分	25分	15分	40分
420級	60分	25分	15分	40分
ILCA7級	60分	25分	15分	40分
ILCA6級	60分	25分	15分	40分
国体ウインド ^レ サーフィン級	30分	15分	10分	20分
テクノ293級	30分	15分	10分	20分

- 15.2 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでのタイムリミットである。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできなかった艇は、審問なしにDNFと記録される。これはRRS35、A5.1、A5.2、A10を変更している。
- 15.3 各競技種目のターゲット・タイムどおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。これはRRS62.1(a)を変更している。

16 審問要求

- 16.1 抗議、救済要求及び審問再開の要求は、大会ホームページのオンラインフォームの「審問要求書」により締切時間内に「プロテスト委員会事務局」に提出しなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には「プロテスト委員会事務局」で入手できる用紙に記入の上、同事務局に持参して提出することができる。
- 16.2 抗議締切時刻は、その日の当該クラスの最終レース終了後、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。
- 16.3 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS61.1(b)に基づき伝えるために、大会ホームページに設置された公式掲示板に掲示する。
- 16.4 SI14.1 に基づき、RRS42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは大会ホームページに設置された公式掲示板に掲示する。
- 16.5 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を大会ホームページに設置された公式掲示板に掲示する。審問は、審問所または Web 審問にて、公式掲示板に掲示された時刻に始められる。
- 16.6 レース公示 9(8)、9(9)、9(10)、18、及び[NP]と記された SI の規則の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは RRS60.1(a)を変更している。
- 16.7 審問再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。
 - (a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合、翌日の 9 時 00 分までに。
 - (b) 要求する当事者が大会最終日に判決を通告された場合、その通告から 15 分以内。
これは RRS66 を変更している。
- 16.8 大会最終日のプロテスト委員会の判決に対する救済要求は、判決の掲示から 15 分以内に提出されなければならない。これは RRS62.2 を変更している。

17 得点

- 17.1 本大会は各競技種目とも 6 レースが予定され、それぞれ 1 レースの完了を持って成立とする。
- 17.2 各種目とも成立したレースが 3 レース以下の場合、艇の得点は全レースの合計得点として順位を決定する。4 レース以上成立した場合は、最も悪いレースの得点を除外したレースの合計得点として順位を決定する。
- 17.3 同時にスタートした種目及び種別については、そのレース毎の順位で得点を計算し、個別に種目及び種別毎での得点計算は行わない。
- 17.4 オープン参加がある種目は、オープン参加の艇を含め各レース一連の順位を決定し得点を与える。
- 17.5 スナイプ級のチームのシリーズ得点は、チームを構成する 2 艇のシリーズ得点の合計とし、合計得点が少ないチームを上位とする。1 艇チームの場合は、1 艇のシリーズ得点に 1 艇の DNC (参加艇数 + 1 点) のシリーズ得点を加算したものをそのチーム得点とする。
- 17.6 スナイプ級のチーム得点と同点の場合、構成する 2 艇のうち上位の 1 艇のシリーズの得点を比較し、上位のチームを上位とする。それでもタイが残っている場合は、下位の艇の得点を比較し、より上位のチームを上位とする。
- 17.7 参加艇数とは、当該クラスに参加が認められた艇の数とする。
- 17.8 掲示されたレースまたはシリーズの成績結果の中に誤りがあるとして訂正を要請する場合、艇は大会ホームページのオンラインフォーム「成績照会」に所定の事項を記入の上、「レース委員会事務局」に提出することで得点及び成績の訂正を要請することができる。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には「レース委員会事務局」で入手できる用紙に記入の上、同事務局に持参して提出することができる。

18 安全規定

18.1 [NP] [SP] チェックアウトは以下のとおりとする。

レースに参加しようとする艇は、その日の予告信号予定時刻の30分前までに出艇申告書に艇長が署名しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇は、その日の予告信号予定時刻の30分前までにリタイアDNC申告書に艇長若しくは監督(代理)が署名しなければならない。

18.2 [NP] [SP] チェックインは以下のとおりとする。

帰着した艇は、帰着後速やかに、また、その日の当該種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から60分以内に帰着申告書に艇長が署名しなければならない。

18.3 [NP] [SP] レースの中止または延期により帰着した場合も、帰着申告を行わなければならない。中止または延期されたレースが再開される場合は、SI18.1 に従い、再度出艇申告を行わなければならない。

18.4 [NP] [SP] リタイアしようとする艇及び引き続き行われるレースに出走しない艇は、可能な場合にはリタイアの意思を近くのレース委員会艇に伝え、速やかにレース海面を離れなければならない。当該艇の艇長は、帰着後直ちにSI18.2の帰着申告を行ったうえ、レース委員会事務局で取得できる「リタイア DNC 申告書」に記載し、提出しなければならない。

18.5 レース委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告及び強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これはRRS62.1(a)を変更している。

18.6 [NP] [SP] 個人用浮揚用具（ライフジャケット）については、RRS40.1及び40.2(b)を適用する。

18.7 救助を必要とする艇の乗員は、頭上で手を大きく振って救助要請を行うこと。

18.8 レース委員会信号艇及び運営艇にV旗が掲揚された場合、支援者艇に対する救助要請を示す。

19 装備の交換と計測のチェック

19.1 [DP] 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしには許可されない。装備の交換要請は、最初の妥当な機会に大会ホームページのオンラインフォーム「装備品の交換」により「テクニカル委員会事務局」に申請しなければならない。ただし、オンラインフォームにより行うことが困難な場合には「テクニカル委員会事務局」で入手できる文書に記入して、同事務局に持参して提出することができる。

19.2 艇、ボードまたは装備は、規則に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。海上で艇またはボードは、計測艇により検査のため、直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

20 運営艇

20.1 運営艇の識別旗は、下記のとおりとする。

運営艇	識別旗
競技委員会艇	白地に黒字「VIP」
レース委員会艇	白地（文字なし）
プロテスト委員会艇	赤地（文字なし）
救助艇	緑地（文字なし）
報道艇	白地に黒文字「報」
テクニカル委員会艇	白地に黒字「T」
警戒艇	緑地（文字なし）

20.2 紛失等による運営艇の識別旗の非掲揚は、艇からの救済要求の根拠とはならない。これはRRS62.1(a)

を変更している。

21 [NP] [DP] 支援者艇

- 21.1 支援者艇は、付属文書Aサポートチーム規程（STR）を参照のこと。
- 21.2 交代選手の乗り換えは、支援者艇により行うこと。
- 21.3 支援者艇の制限水域を添付資料3及びSTRに示す。

22 ごみの処分

ごみは、支援者艇または運営艇に渡してもよい。

23 賞

賞は、レース公示どおりとする。

24 リスク・ステートメント

RRS3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

25 肖像権

選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または装備に関する動画、スチール写真及び撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

26 規則違反によって生じた損害の補償

主催団体は、規則等に違反した艇の乗員に対して、その規則違反によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。

27 帆走指示書（SI）に関する質問

帆走指示書（SI）に関する質問は、2023年8月31日（木）まで文書でのみ受け付ける。

質問の送り先は、次のとおりとし、質問についての回答は大会ホームページ内の公式掲示板に掲示される。

〈送付先〉 公益財団法人日本セーリング連盟

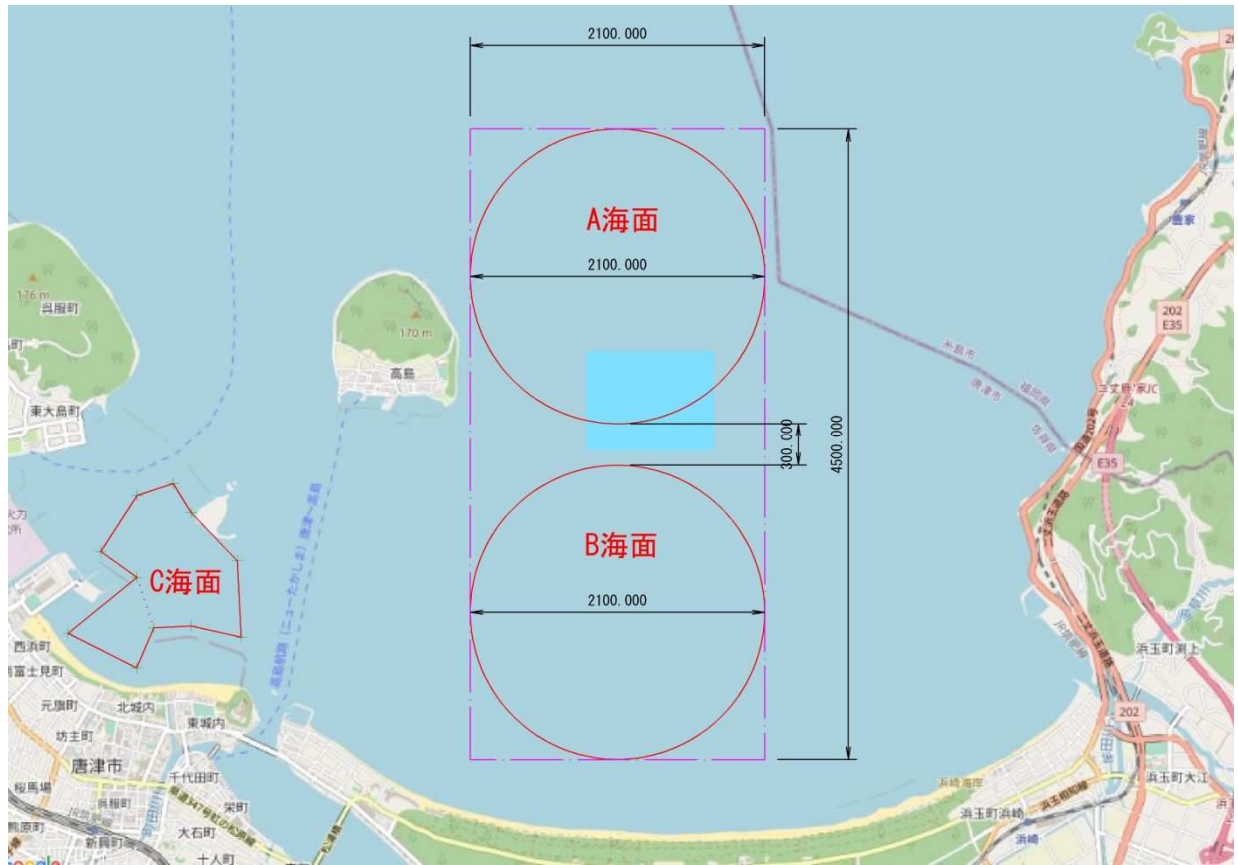
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階

TEL 03-6447-4881 FAX 03-6447-4882

Email head@jsaf.or.jp

添付資料1 レースエリア



A海面とB海面の位置は、重ならない範囲で、天候等の事情を勘案してエリアを設定する。

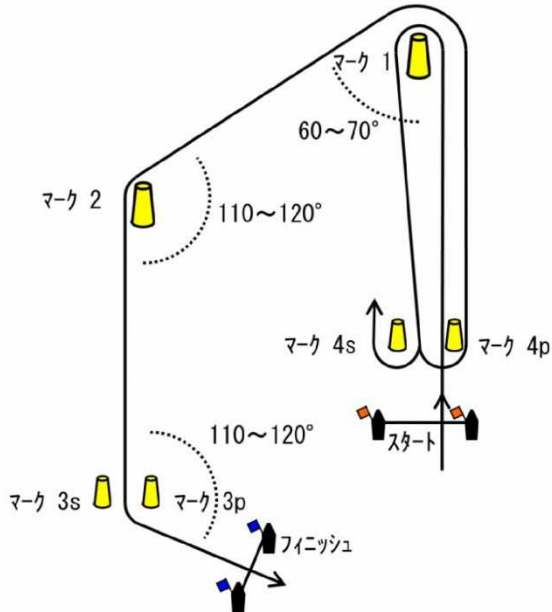
添付資料2 コース

コース I

トラペゾイド インナーループ

I 2 : スタート-1-4s/4p-1-2-3p-フィニッシュ

I 3 : スタート-1-4s/4p-1-4s/4p-1-2-3p-フィニッシュ

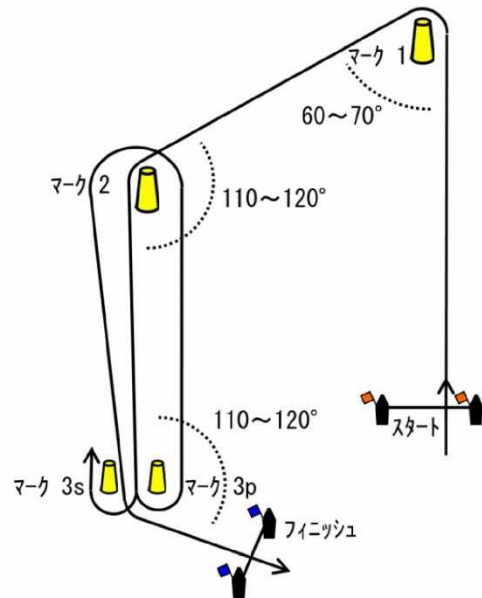


コース O

トラペゾイド アウターループ

O 2 : スタート-1-2-3s/3p-2-3p-フィニッシュ

O 3 : スタート-1-2-3s/3p-2-3s/3p-2-3p-フィニッシュ

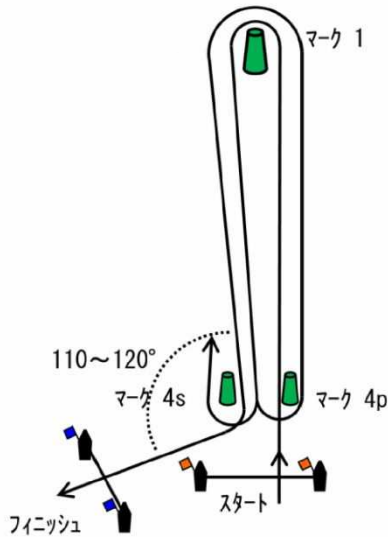


コース LG

上下・スターボード・フィニッシュ

LG 2 : スタート-1-4s/4p-1-4s-フィニッシュ

LG 3 : スタート-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4s-フィニッシュ

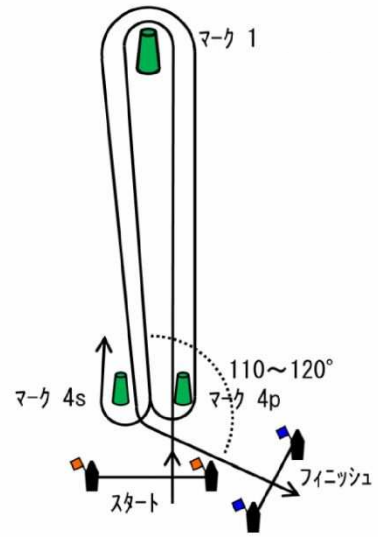


コース LR

上下・ポート・フィニッシュ

LR 2 : スタート-1-4s/4p-1-4p-フィニッシュ

LR 3 : スタート-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4p-フィニッシュ

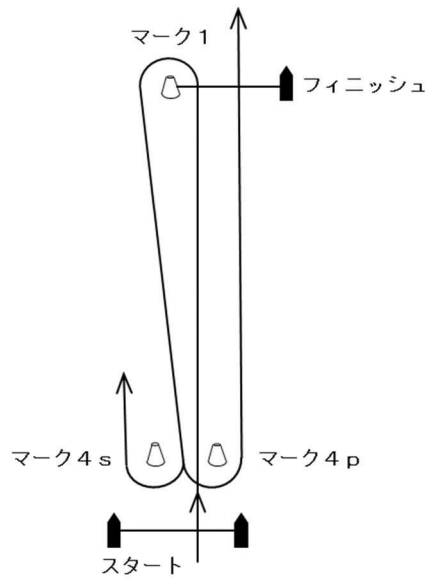


コース W

上下・フィニッシュ

W2 : スタート - 1 - 4 s / 4 p - フィニッシュ

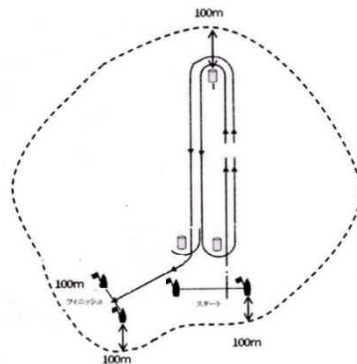
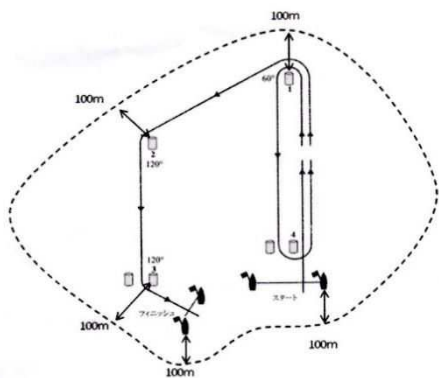
W3 : スタート - 1 - 4 s / 4 p - 1 - 4 s / 4 p - フィニッシュ



添付資料3 支援者艇のレース時の制限水域（V旗掲揚時を除く）

レースエリア100m外
トラベゾイドコース

上・下コース



添付資料4

以下の申請・申告方法、書式などについては、大会ホームページ、公式掲示版、またはLINE チャットで、競技開始日までに順次リンクを掲載します。

- ・抗議、救済要求、審問再開の要求
- ・装備の交換要請
- ・得点照会申請書
- ・LINE チャット QR コードおよび登録方法

以下は、帆走指示書に含まれない（規則に該当しない）一般情報である。

①航路通過方法及び浅瀬について



高島航路を横断する場合、レースコミッティーボート2隻にて赤旗及び青旗を掲揚するので、赤旗掲揚時には手前で待機し、青旗掲揚時に同旗を掲揚した2隻のレースコミッティーボートの間を航路に直角に横断してください。

また、ハーバー沖合の鳥島の東側は岩礁となっていますので接近しない様にしてください。センターボード等の破損する可能性があります。

大会出場者名簿

〈全日本実業団ヨット選手権大会〉

- ・ 470 級（オープン参加有り）
- ・ スナイプ級（オープン参加有り）

〈全日本セーリングスピリッツ級選手権大会〉

- ・ セーリングスピリッツ級

〈全日本セーリング選手権大会〉

- ・ 420 級（少年男子、少年女子、オープン参加有り）
- ・ ILCA7 級（成年男子）
- ・ ILCA6 級（成年女子、少年男子、少年女子）
- ・ 国際ウィンドサーフィン級（成年男子、成年女子）
- ・ テクノ 293 級（成年男子、成年女子）
- ・ 470 級ミックス
- ・ スナイプ級ミックス



高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会

470級

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1	4686	(株)豊田自動織機	田中 年彦	江田 行志 杉浦 博之	
2	4547	マツダ親和会ヨット部	井川 史郎	高崎 神風 藤川 晟馬	
3	4423	医療法人 才全会	柳川 祥一	五嶋 杏莉 田村 優衣	

470級 オープン参加

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
4	4580	愛媛県セーリング連盟		市川 悠斗 鍋良 桂吾	
5	4814	九州大学ヨット部	高橋 神風	城 毅 伊井 宥景	
6	4717	九州大学ヨット部	高橋 神風	前田 将太郎 永田 蒼馬	
7	4556	九州大学ヨット部	高橋 神風	伊藤 舞梨 金子 朔也	
8	4307	九州大学ヨット部	高橋 神風	桑岡 育 森 悠生	
9	4308	西南学院大学	近藤 一成	福島 直人 岩田 篤志 柴田 直輝	
10	4287	西南学院大学	近藤 一成	釜山 大輝 大平 彩佳 大橋 慶輔	
11	4480	西南学院大学	近藤 一成	武田 宙大 宮崎 遼人	
12	4127	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	池田 龍平 上園田 心太浪	
13	3849	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	宮本 健吾 中村 海一	
14	4742	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	北 修紋 今村 公彦	

高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会
スナイプ級

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1 2	31603 31433	(株)エス・ピー・ネットワーク	渡部 洋介	渡部 洋介 渡邊 哲雄 谷川 亮介 野呂 英輔 市川 玲 山下 明德 小田 野々花	
3 4	31315 30478	東京海上日動ヨット部	松田 友明	目黒 剛志 原 潤太郎 加藤 卓 太田 匠 伊東 里菜 上園田 明真海 新井 健伸	
5 6	31862 31863	日本郵船		高曾 陽平 岡本 拓海 小西 龍 柿原 功宗 益田 耕司	
7 8	30203 31177	株式会社日立製作所ヨット部	田付 雅昭	土井 良平 松本 洋一 大橋 太一 板垣 慶一郎 村岸 恭明 江川 雅也	
9 10	31713 31497	湘南サニーサイドマリーナヨットクラブA		羽柴 宏昭 井上 直樹 芳田 翔平 福吉 達也 長塚 正一郎	
11 12	31697 31415	湘南サニーサイドマリーナヨットクラブB		山田 剛士 小島 正敬 入江 裕太 三船 和馬	
13 14	30966 29465	日産自動車ヨット部	中村 充利	谷 意公男 青木 出琉 遠藤 晃 康 大偉 田中 康行 中村 充利	
15 16	31853 31582	(株)アイシン STARS	大澤 昭彦	笹井 正和 伊藤 和央 石川 真吾 杉浦 涼斗	

高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会

スナイプ級

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
17 18	31647 31756	株豊田自動織機	田中 年彦	松崎 茂 田中 年彦 加佐原 諭 加藤 拓海 岩月 大空 佐藤 一真 森下 永遠	
19 20	31629 30466	株島津製作所	山崎 寛	山崎 寛 横山 滉介 村田 光宏 杉浦 衛 森川 健司 西埜 誠	
21 22	31867 28828	川崎重工業ヨット部		大友 良晃 荒井 康三 青田 雄弘 田中 拓磨 赤松 慧亮 堀井 純太 竹中 修平 西田 睦	
23 24	31301 31646	グッドホールディングス	津田 政房	津田 政房 森谷 幸雄 河野 元道 山本 優志 桑原 洋樹 井堰 威瑠	
25 26	31235 31161	神戸ST & パナソニック	田中 弘一	田中 弘一 宵 道貴 芦田 章吾 幡井 翔悟 西岡 亮太 古田 隆	
27 28	30968 30967	マツダ親和会ヨット部	井川 史郎	栗原 健造 古家 遼 森田 倫規 平岡 志帆 長野 直樹 中島 和宏 豊島 以知朗 前田 博志 結城 阿育	
29 30	31711 31688	医療法人 才全会	上村 史朗	上田 健登 河津 優理 藤田 奏音 田中 瑞穂 村瀬 楓華 上村 史朗	
31 32	29022 29031	三菱重工業株長崎造船所ヨット部	谷口 雅彦	谷口 雅彦 阿座上 正信 永野 英文 丸田 聡史 奥蘭 剛	

高松宮妃記念杯第69回全日本実業団ヨット選手権大会

スナイプ級 オープン参加

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
33	30081	立命館大学OB	橋本 健斗	橋本 健斗 室田 大輔	
34	28565	MUFFG Yacht team	林田 竜太	林田 竜太 野上 夏暉	
35	31873	九州大学ヨット部	高橋 神風	鈴木 英心 林 駿希	
36	31557	九州大学ヨット部	高橋 神風	西本 かなで 引地 勤太	
37	31335	九州大学ヨット部	高橋 神風	藤本 航 黒田 大樹	
38	31272	九州大学ヨット部	高橋 神風	松永 健吾 坪内 琴乃	
39	31429	チーム輝栄会		中村 吉孝 梅野 淳	
40	31855	(医)六広会 TEAM ENTERPRISE		大石 昌弘 村上 義龍	

第23回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会

セーリングスピリッツ級

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1	13	東京都セーリング連盟	大島 卓也	吉田 愛 武井 裕子	
2	173	神奈川県セーリング連盟		宮川 恵子 深沢 瑛里	
3	252	鳥取県セーリング連盟	阿部 幸久	池淵 砂紀 景山 優生	
4	40	福岡県セーリング連盟	吉岡 岳史	岩本 沙織 永見 綾子	
5	246	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	中山 由菜 北原 由佳	
6	174	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	大久保 雪萌 垣迫 真央	
7	183	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	鈴木 杏依子 深江 夏鈴	
8	96	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	元津 志緒 此上 友唯	

2023年全日本セーリング選手権大会

ILCA6級 成年女子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1	221066	㈱豊田自動織機	田中 年彦	柿元 麻衣	
2	208605	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	神木 由紀美	
3	47822	長崎県セーリング連盟	市来 翔太	高田 春歌	
4	181192	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	梶原 茜	
5	211525	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	請関 紗弥	
6	214395	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	原田 小夜子	

2023年全日本セーリング選手権大会

ILCA7級 成年男子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1	219175	(株)豊田自動織機	田中 年彦	神谷 空弥	
2	223207	(株)豊田自動織機	田中 年彦	神谷 俊希	
3	206898	和歌山県セーリング連盟	高橋 航	中村 悠耶	
4	217254	松江工業高等専門学校/島根県ヨット連盟	豊島 由浩	豊島 有壮	
5	168403	(医)六広会 TEAM ENTERPRISE		奥田 祐大	
6	176881	(株)新都心エージェンシー 福岡		黒田 武士	
7	220186	株式会社ミゾタ	保利 守男	南里 研二	
8	211035	長崎県セーリング連盟	市来 翔太	森崎 邦弘	
9	208602	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	折田 広大	
10	184010	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	岩城 海都	

2023年全日本セーリング選手権大会

420級 少年女子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
9	55481	鳥取県セーリング連盟	阿部 幸久	森山 伊織 林 深姫	
10	55561	愛媛県セーリング連盟		古川 梨子 石川 さくら	
11	55516	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	黒田 美海 渡邊 結来	
12	57143	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	有村 はるな 舩添 光	

2023年全日本セーリング選手権大会

420級 少年男子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1	55937	愛媛県セーリング連盟		吉岡 晴月 北川 淳朗	
2	55515	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	藤川 主阿 坂田 泰斗	
3	55238	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	江藤 直柔 西分 航太	
4	55439	長崎総合科学大学附属高校	作本 洋一	塩田 到 林 莉央	
5	57034	長崎総合科学大学附属高校	作本 洋一	梅崎 賢成 伊藤 一成	
6	55220	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	三浦 豪斗 魚住 亜軍	
7	56586	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	坂元 太雅 松田 典	
8	54676	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	西郷 永進 竹中 源希	

2023年全日本セーリング選手権大会

ILCA6級 少年男子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
7	206900	和歌山県セーリング連盟	高橋 航	大平 颯良	
8	208603	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	竹本 怜史	
9	184012	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	古賀 弘晃	
10	217050	長崎県セーリング連盟	市来 翔太	松原 空雅	
11	139643	長崎総合科学大学附属高校	作本 洋一	小川 命	
12	177062	B&G時津海洋クラブ		久松 志摩	
13	201548	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	岩下 稔	
14	214971	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	中尾 貴聖	
15	214394	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	松浦 颯良	

2023年全日本セーリング選手権大会

ILCA6級 少年女子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
16	206901	和歌山県セーリング連盟	高橋 航	矢野 葉菜	
17	208005	鳥取県セーリング連盟	阿部 幸久	浅田 千晴	
18	196493	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	平片 心花	
19	208604	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	川添 夢叶	
20	111928	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	浅川 梨音	

2023年全日本セーリング選手権大会

国体ウインドサーフィン級 成年男子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
1	1		小嶺 恵美	井上 隆	
2	27		山本 遼	山本 遼	
3	22	(株)豊田自動織機	田中 年彦	福村 拓也	
4	221	(株)豊田自動織機	田中 年彦	靱山 和慶	
5	30	和歌山県セーリング連盟	高橋 航	尾川 潤	
6	33	岡山県セーリング連盟		條本 和宏	
7	35	広和ショッピング株式会社/山口県セーリング連盟		鳥取 雅詞	
8	35	山口	三浦 圭	三浦 圭	
9	38	東京海上日動		岡本 大成	
10	40	福岡県セーリング連盟		村田 高亮	
11	1			吉富 孝博	
12	41	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	倉持 大也	
13	42	長崎県セーリング連盟		水田 長兵	
14	44	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	黒石 勇二	
15	45	宮崎県セーリング連盟	平島 昇	松宮 哲夫	
16	46	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	廣津 秀治	

2023年全日本セーリング選手権大会

国体ウインドサーフィン級 成年女子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
17	9		小嶺 恵美	小嶺 恵美	
18	41	NPO法人佐賀県ヨット連盟	保利 守男	渡邊 優帆	
19	4	長崎県		橘田 ゆかり	
20	1	鹿児島県セーリング連盟	勝田 哲英	松浦 絵里	

2023年全日本セーリング選手権大会

テクノ293級 成年男子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
21	19-72	JUBF National Team		片山 好人	
22	46-2	JUBF National Team		大島 春哉	
23	50-86	JUBF National Team		中村 宙樹	
24	15-8	JUBF National Team		五月女 太郎	
25	46-93	JUBF National Team		森 健太郎	
26	12-11	JUBF National Team		中村 晴輝	
27	12-5	京都大学ウインドサーフィン部		三柴 大輝	
28	12-7	京都大学ウインドサーフィン部		宮地 壮	
29	12-8	京都大学ウインドサーフィン部		宮下 響	
30	12-99	京都大学ウインドサーフィン部		藤田 悠馬	
31	12-4	京都大学ウインドサーフィン部		田中 千畝	
32	12-24	京都大学ウインドサーフィン部		永田 伊吹	
33	12-23	京都大学ウインドサーフィン部		有馬 健晟	
34	12-40	京都大学ウインドサーフィン部		古場 元	
35	78-4	大分大学	島 充希	島 充希	
36	78-7	大分大学	島 充希	田中 拓海	
37	72-20	鹿屋体育大学	榮樂 洋光	今井 公暉	

2023年全日本セーリング選手権大会

テクノ293級 成年女子

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
38	46-5	JUBF National Team		岡 朋加	
39	10-5	JUBF National Team		山下 響	
40	12-15	京都大学ウインドサーフィン部		大原 夕奈	
41	12-10	京都大学ウインドサーフィン部		濱口 未桜	
42	78-11	大分県セーリング連盟	五十川 浩司	植木 祐衣	
43	72-15	鹿屋体育大学	榮樂 洋光	戸石川 奈津	

2023年全日本セーリング選手権大会

スナイプ級 ミックス

識別番号	セール番号	チーム名	監督氏名	選手氏名	備考
41	31715	WYC/早稲田大学ヨット部	関口 功志	関口 功志 中尾 桃子	
42	JPN31811	NORTH SAILS JAPAN	白石 潤一郎	白石 潤一郎 篠原 璃音	
43	31353	チーム松喜屋	西居 基晴	西居 基晴 糸川 朝子	
44	31255	(医)六広会 TEAM ENTERPRISE		吉岡 岳史 牟田 絢美	
45	31178	早稲田大学・鹿屋体育大学		中川 芹香 中川 望夢	

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第 1～20回)

大会の回数	開催期日 (西暦)自至	開催地	優勝チーム			所属水域	成立したレースの回数	参加チーム数 (注3)
			艇種等 (注1)	(*高松宮妃賜杯授与先) (注2)				
第1回	55. 11. 3 5	滋賀県大津市 琵琶湖柳ヶ崎	S、A 級総合	* (株) 島津製作所	近畿北陸	決勝7回戦	17	
第2回	56. 11. 2 4	〃	〃	* (株) 中井商店	関東			
第3回	57. 8. 24 25	三重県四日市市	〃	* 田辺製薬(株)	関西			
第4回	58. 11. 3 4	神奈川県三浦郡 葉山鑑摺	〃	* 巴工業(株)	関東			
第5回	59. 8.	愛知県常滑市	〃	* 〃	〃			
第6回	60. 11.	滋賀県大津市 琵琶湖柳ヶ崎	〃	* リッカーマシン(株)	〃			
第7回	61. 8.	神奈川県横浜市	〃	* 巴工業(株)	〃			
第8回	62. 11. 2 4	山口県光市 室積	S	* 大津市役所	近畿北陸	5	18	
			F	(株)日立製作所・松下電工(株)	関東・関西	5	18	
第9回	63. 11. 8 10	兵庫県西宮市 西宮	S	* 山村硝子(株)	関西	3、別に予選2	〃	
第10回	64. 11. 1 3	滋賀県大津市 琵琶湖柳ヶ崎	〃	* (株) 大丸京都店	近畿北陸		20	
			S	* 〃	近畿北陸	4、別に予選2	18	
第11回	65. 11. 1 3	神奈川県藤沢市 江の島	F	(株)日立製作所	関東	5	7	
			S	* (株)日立製作所	関東	7(内上位6)	19	
第12回	66. 11. 3 6	茨城県土浦市 霞ヶ浦	〃	* (株)日立製作所	関東			
第13回	67. 11. 2 5	愛知県蒲郡市	〃	* (株)豊田自動織機製作所	中部	〃(〃)	20	
第14回	68. 11. 2 5	長崎県長崎市	〃	* 本田技研工業(株)浜松製作所	〃			
第15回	69. 9. 20 23	岩手県宮古市 磯鶏	〃	* 武田薬品工業(株)光工場	中国	3、別に予選3	20	
第16回	70. 10. 31 11. 3	和歌山県和歌山市 新和歌浦	〃	* 新日本製鉄(株)光製鉄所	〃	8(A、B各組4)	〃	
第17回	71. 11. 20 23	鹿児島県鹿児島市 錦江湾平川	〃	* 武田薬品工業(株)光工場	〃	〃(〃)	〃	
第18回	72. 11. 2 5	千葉県館山市 館山湾	〃	* 〃	〃		26	
第19回	73. 11. 1 4	茨城県土浦市 霞ヶ浦	〃	* 近江鉄道(株)	近畿北陸	6	22	
第20回	74. 11. 1 4	三重県津市 伊勢湾	S	* 武田薬品工業(株)光工場	中国	5	22	
			470	新日本製鉄(株)光製鉄所	中国	5	21	

(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートデインギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第21～40回)

大会の回数	開催期日 (西暦)自至	開催地	優勝チーム			成立した レースの 回数	参加チ ーム数 (注3)
			艇種等 (注1)	(*高松宮妃賜杯授与先) (注2)	所属 水域		
第21回	75. 10. 30 11. 2	神奈川県藤沢市 江の島	S	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	2	22
			470	〃	〃	3	22
オープン	76. 7. 24 26	青森県青森市 浅虫	〃	* 〃	〃	〃	〃
			〃	関東自動車工業(株)	関東	〃	〃
第22回	76. 10. 8 11	福岡県福岡市 博多湾小戸	〃	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	8(A、B各組4)	〃
			〃	関東自動車工業(株)	関東	5	〃
第23回	77. 10. 21 24	長野県諏訪市 諏訪湖	〃	* 三菱重工業(株)広島造船所	中国	5	〃
			〃	興亜火災海上保険(株)	関東	5	〃
第24回	78. 11. 2 5	大阪府泉南郡 岬町淡輪	〃	* 三菱重工業(株)広島造船所	中国	〃	〃
			〃	興亜火災海上保険(株)	関東	〃	21
第25回	79. 9. 27 30	愛知県蒲郡市	〃	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	〃	22
			〃	〃	〃	〃	21
第26回	80. 11. 1 4	滋賀県大津市 琵琶湖際川	〃	* 〃	〃	4	22
			〃	〃	〃	4	20
第27回	81. 7. 7 10	鹿児島県鹿児島市 錦江湾平川	〃	* 〃	〃	5	20
			〃	〃	〃	5	16
第28回	82. 9. 9 12	長野県諏訪市 諏訪湖	〃	* 関東自動車工業(株)	関東	〃	22
			〃	(株)豊田自動織機製作所	中部	〃	22
第29回	83. 11. 8 10	兵庫県芦屋市 浜風町	〃	* 関東自動車工業(株)	関東	〃	22
			〃	〃	〃	〃	20
第30回	84. 11. 1 4	鳥取県境港市 新屋町	〃	* 三菱重工業(株)広島造船所	中国	4	22
			〃	(株)日立製作所	関東	4	21
第31回	85. 10. 10 13	山梨県山中湖村	〃	* 関東自動車工業(株)	関東	5	22
			〃	山梨県庁	関東	5	21
第32回	86. 10. 31 11. 3	沖縄県宜野湾市	〃	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	4	21
			〃	沖縄県庁	九州	5	20
第33回	87. 10. 8 11	京都府宮津市	〃	* 関東自動車工業(株)	関東	5	22
			〃	〃	〃	5	22
第34回	88. 9. 22 25	北海道江差町	〃	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	〃	22
			〃	立石電気(株)	近畿北陸	〃	21
第35回	89. 10. 7 10	福岡県福岡市 博多湾小戸	〃	* 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	〃	22
			〃	関東自動車工業(株)	関東	〃	20
第36回	90. 9. 21 24	石川県羽咋市 滝港マリーナ	〃	* 新日本製鉄(株)光工場	中国	4	21
			〃	N T T 関西支社	関西	4	22
第37回	91. 9. 26 29	山形県温海町 鼠ヶ関マリーナ	〃	* 和泉電気(株)	関西	1	23
			〃	(株)リクルート	関東	1	21
第38回	92. 10. 15 18	香川県仁尾町 仁尾マリーナ	〃	* 関東自動車工業(株)	関東	5	22
			〃	N T T 関西支社	関西	5	21
第39回	93. 10. 8 11	愛知県蒲郡市 海陽ヨットハーバー	〃	* 関東自動車工業(株)	関東	〃	25
			〃	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	〃	25
第40回	94. 9. 22 25	福島県いわき市 いわきサンマリーナ	〃	* ニッテツ電子	中国	5	22
			〃	(株)大丸京都店	近畿北陸	5	21

(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートディンギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第41～60回)

大会の回数	開催期日 (西暦)自至	開催地	優勝チーム			所属水域	成立したレースの回数	参加チーム数 (注3)
			艇種等 (注1)	(*高松宮妃賜杯授与先) (注2)				
第41回	95. 10. 7 10	広島県安芸郡 音戸町大浦崎公園	S	*マツダ(株)	中国	3	25	
			470	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	3	23	
第42回	96. 10. 10 13	大阪府泉南郡 岬町淡輪	〃	*マツダ(株)	中国	7	26	
			〃	ヤマハ発動機(株)	中部	7	23	
第43回	97. 10. 9 12	神奈川県藤沢市 湘南港ヨットハーバー	〃	* (株)豊田自動織機製作所	中部	4	25	
			〃	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	6	25	
第44回	98. 10. 8 11	熊本県宇土市 宇土マリーナ	〃	* (株)豊田自動織機製作所	中部	4	23	
			〃	ヤマハ発動機(株)	中部	4	24	
第45回	99. 10. 8 11	富山県新湊市	〃	* 本田技研工業(株)熊本製作所	九州	6	23	
			〃	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	6	14	
第46回	00. 10. 6 9	宮城県名取市 閑上特設ヨットハーバー	〃	* 三菱重工業(株)広島	中国	5	24	
			〃	本田技研工業(株)	中部	6	14	
第47回	01. 10. 5 8	高知県夜須町 夜須特設セーリング会場	〃	* ワッカー・NSCE(株)	中国	6	26	
			〃	東亜建設工業ヨット部	関東	7	20	
第48回	02. 10. 11 14	静岡県御前崎町 御前崎港特設マリーナ	〃	* 本田技研工業(株)熊本製作所	九州	7	25	
			〃	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	7	15	
第49回	03. 10. 10 13	東京都江東区 若洲ヨット訓練所	〃	* ワッカー・NSCE(株)	中国	3	22	
			〃	ミキハウス	関東	3	11	
第50回	04. 10. 9 11	愛知県蒲郡市 海陽ヨットハーバー	〃	* アイシン・エーアイ(株)	中部	5	27	
			〃	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	中部	5	9	
第51回	05. 10. 7 10	兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー	〃	* 本田技研工業(株)熊本製作所	九州	7	30	
			〃	トヨタ自動車(株)B	中部	7	15	
第52回	06. 9. 15 18	秋田県男鹿市船川港 特設セーリング会場	〃	* 本田技研工業(株)熊本製作所	九州	6	19	
			〃	(株)エス・ピー・ネットワーク	九州	6	7	
第53回	07. 11. 22 25	大分県別府市 北浜ヨットハーバー	〃	* (株)エス・ピー・ネットワーク	九州	5	22	
			〃	(株)エス・ピー・ネットワーク	九州	5	4	
第54回	08. 9. 12 15	新潟県北蒲原郡 聖籠町網代浜	〃	* (株)豊田自動織機	中部	7	22	
			〃	(株)エス・ピー・ネットワーク	九州	8	9	
第55回	09. 9. 20 22	千葉県千葉市 稲毛ヨットハーバー	〃	* アイシン・エーアイ(株)	中部	6	22	
			〃	(株)エス・ピー・ネットワーク	九州	7	4	
第56回	10. 8. 26 29	山口県光市 スポーツ交流村	〃	* 本田技研工業(株)熊本製作所	九州	7	21	
			〃	(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	7	8	
第57回	11. 9. 16 19	愛知県蒲郡市 海陽ヨットハーバー	〃	* アイシン・エーアイ(株)	中部	7	23	
			〃	(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	7	12	
第58回	12. 9. 14 17	東京都江東区 若洲ヨット訓練所	〃	* アイシン・エーアイ(株)	中部	6	18	
			〃	(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	7	28	
第59回	13. 9. 14 16	長崎県長崎市 長崎サンセットマリーナ	〃	* (株)エス・ピー・ネットワーク	関東	4	16	
			〃	(株)ベネッセホールディングス	中国	6	6	
第60回	14. 9. 13 15	和歌山県和歌山市 和歌山セーリングセンター	〃	* アイシン・エーアイ(株)ヨット部	中部	6	48	
			〃	(株)豊田自動織機	中部	6	5	

(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートディンギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

【過去の栄冠】

—全日本実業団選手権大会—

(第61～63回)

大会の回数	開催期日 (西暦)自至	開催地	優勝チーム			成立したレースの回数	参加チーム数 (注3)
			艇種等 (注1)	(*高松宮妃賜杯授与先) (注2)	所属水域		
第61回	15 10 10 12	岩手県宮古市 リアスハーバー宮古	S	三菱重工業(株)広島	中国	5	15
			470	*(株)エス・ピー・ネットワーク	関東		
第62回	16 9 17 19	愛媛県新居浜市 新居浜マリーナ	//	*三菱重工業(株)広島	中国	3	19
			//	(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	4	8
第63回	17 9 8 10	福井県高浜町 若狭和田マリーナ	//	*(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	5	22
			//	(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	5	5
第64回	18 10 26 28	茨城県阿見町 阿見町霞ヶ浦セーリング特設会場	//	*グッドホールディングス(株)	関西	5	18
			//	(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	5	5
第65回	19 9 14 16	鹿児島県鹿児島市 鹿児島市平川特設セーリング会場	//	* HIK Office	関東	5	19
			//	(株)エス・ピー・ネットワーク	関東	6	5
第66回		中止					
第67回		中止					
第68回	22 9 23 25	広島県広島市 広島観音マリーナ デインギヤード	//	*(株)アイシン	中部	8	43
			//	(株)ピアソンマリンジャパン	中国	8	9
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							
第 回							

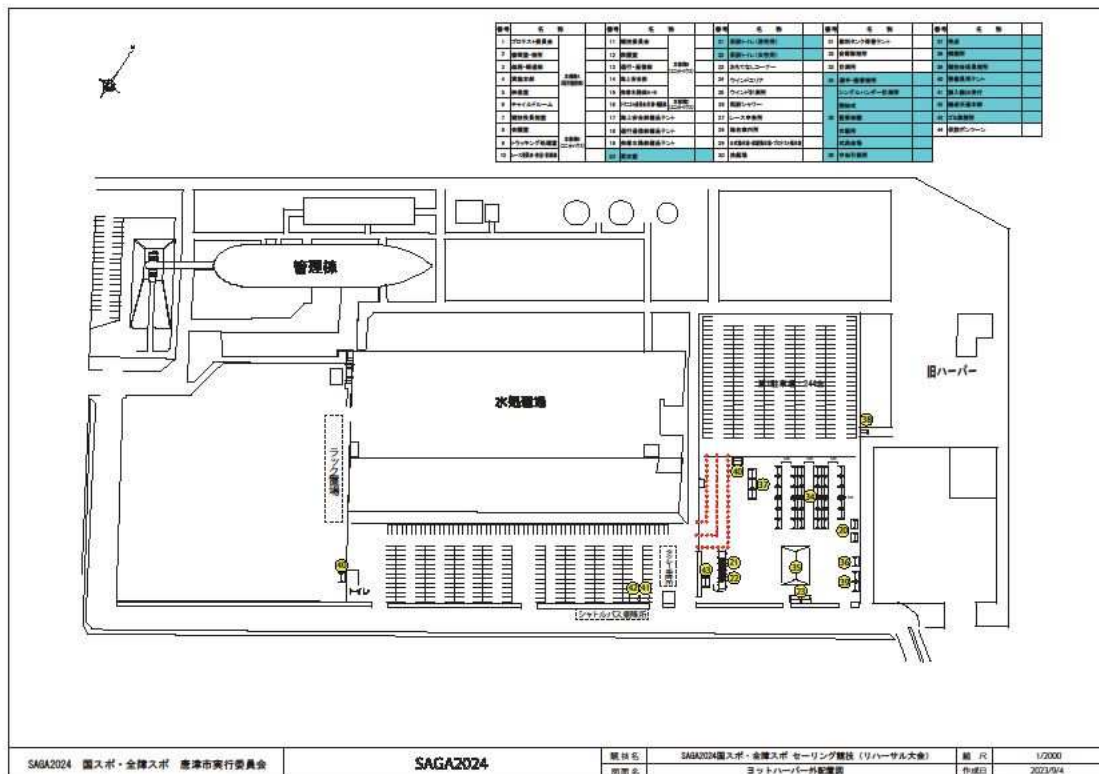
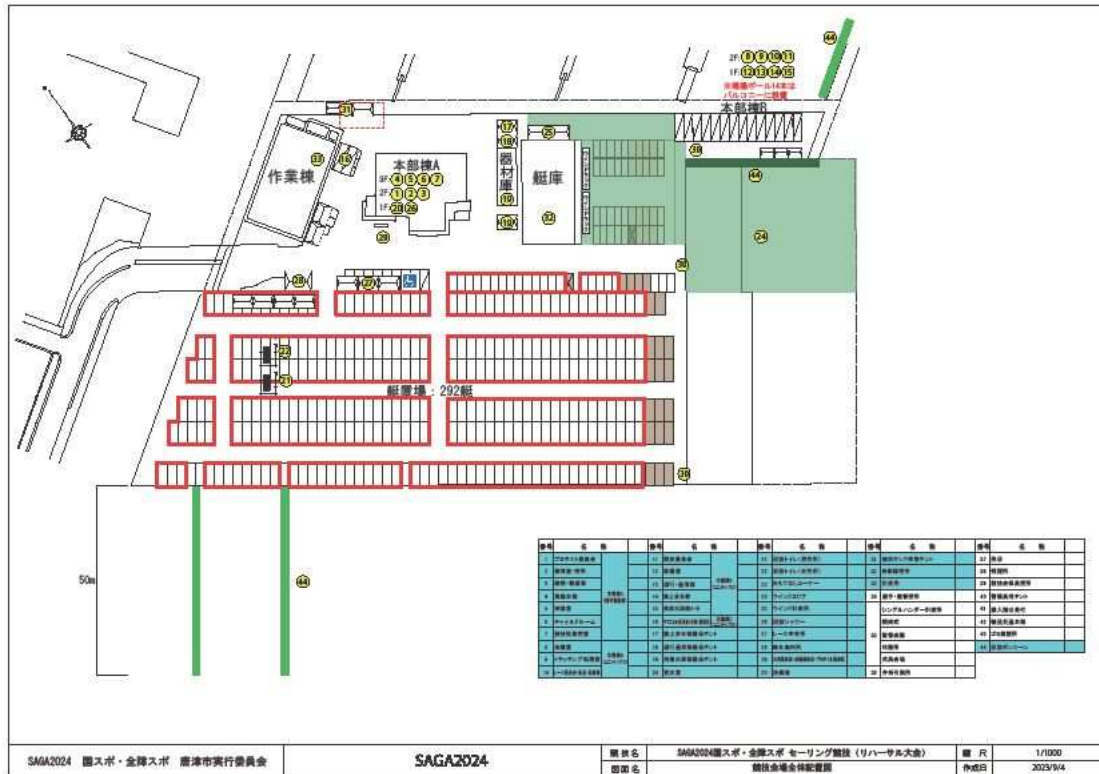
(注1) 艇種は、Sが国際スナイプ級、Aが12フィートデインギー、Fがフィン級、470が国際470級を表す。

(注2) 高松宮妃賜杯は、'04年12月18日妃殿下薨去以降は妃記念杯として引き継がれている。

(注3) 参加チーム数は、全日本選手権大会予選等各水域大会参加数を含まない。

(注4) 高松宮妃記念杯は、スナイプ級における「同一企業メンバーで構成されたチームのうち最優秀チーム」に授与される為優勝チームとは異なることがある(第61回大会)

会場図・会場周辺図



11 関係者連絡先一覧

◆事務局

名 称	電話番号	名 称	電話番号
国スポ・全障スポ競技課	0955-53-7176	実施本部（携帯）①	090-8790-6141
国スポ・全障スポ総務課	0955-53-7108	実施本部（携帯）②	090-2132-4741

◆会場

名 称	電話番号
佐賀県ヨットハーバー	0955-73-7041

◆診療案内

名 称	電話番号
唐津市消防本部救急医療情報案内	0955-73-0043

◆唐津市内の病院

名 称	電話番号	名 称	電話番号
唐津救急医療センター (内科・外科) 日祝 9:00~21:00	診療時間内 0955-75-5199 診療時間外 0955-75-5193	河畔病院	0955-77-2611
唐津赤十字病院	0955-72-5111	唐津第一病院	0955-72-1212
済生会唐津病院	0955-73-3175	唐津市民病院きたはた	0955-64-2611

◆関係業者

名 称	電話番号	名 称	電話番号
【会場設営】 大和産業	090-9406-2099	【警備】 TSP 太陽	080-1494-9477

◆タクシー会社

名 称	電話番号	名 称	電話番号
昭和自動車(株)タクシー事業部 (唐津市和多田用尺)	0120-37-1235 0955-74-1234	温泉交通(株)タクシー事業部 (唐津市鏡)	0955-70-5555
唐津観光タクシー(株) (唐津市西大島町)	0955-72-4141	からつタクシー(株) (唐津市和多田大土井)	0955-72-4222

SAGA2024国スポセーリング競技会リハーサル大会 チャイルドルームのご案内



場 所：佐賀県ヨットハーバー

実 施 日：2023年9月16日（土）～9月18日（月）

開設時間：9月16日（土）、17日（日）8：30～16：30

9月18日（月） 8：30～14：00

対象年齢：0歳～6歳程度参加する選手・大会役員・大会関係者の方も無料でご利用頂けます。

- 乳幼児の授乳・おむつの取り換えなどの部屋をご用意
- 休憩中の乳幼児の一時的な託児をお手伝い

8月24日までに下記URLより申し込みください

<https://ws.formzu.net/dist/S618102133/>

主催：（公財）日本セーリング連盟 レディース委員会
協力：SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会
NPO法人佐賀県ヨット連盟

プログラム記載事項訂正届

レース委員会 御中

チーム名 _____

監督名 _____

下記のとおり、記載事項に誤りがありましたので、訂正をお願いいたします。

頁	行	誤	正

提出先：レース委員会

提出期限：令和5年9月16日（土）午後13時 厳守

SAGA 2024 国ス ポ 全障ス ポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



大会ホームページはこちらになります。レースの
ライブ配信や結果等はこちらでご確認ください。